

IPSiO SP 3410sf

ファクス設定・利用ガイド



紙の使用説明書にない情報は
画面で見る使用説明書(付属の
CD-ROMに収録)をご覧ください。



-
- ① はじめにお読みください
 - ② ファクスを使う前に
 - ③ ファクス機能を使う
 - ④ パソコンからファクス機能を活用する (PCファクス)
 - ⑤ ファクスの詳細設定
 - ⑥ 困ったときには

目次

本機に同梱されている使用説明書

安全上のご注意	 
かんたんセットアップ	 
フォルダー送信設定ガイド	 
ファクス設定・利用ガイド（本書）	 
操作ガイド	
クイックガイド	 

1. はじめにお読みください

はじめに	5
複製、印刷が禁止されているもの	5
おことわり	6
商標	6
使用説明書について	8
使用説明書の紹介	8
使用説明書一覧表	9
マークについて	9
本書についてのご注意	10

2. ファクスを使う前に

ファクス設定の流れ	11
回線種別の確認方法	12
受信モードの確認方法	13
設定項目を確認する	14
電話回線に接続する	15
ADSL 環境への接続例	15
ISDN 環境への接続例	16
ひかり電話環境の接続例	18
内線電話環境の接続例	18
電話回線の種別を選択する	19
電話回線への接続方法を選択する	21
外線発信番号を設定する	23
日時を設定する	24
受信モードを選択する	26
発信元情報を登録する	28

3. ファクス機能を使う

ファクスモード画面	31
ファクスのあて先を登録する	32
操作部であて先を登録する	32
あて先を修正する	34
あて先を削除する	35
ファクスを送信する	37
送信モードを選択する	37
基本的なファクスの送りかた	39
送信をキャンセルする	41
あて先を指定する	42
ワンタッチキーであて先を指定する	42
短縮ダイヤルであて先を指定する	43
同報送信のあて先を指定する	45
リダイヤル機能であて先を指定する	46
便利な送信方法	47
読み取り方法を設定する	50
濃度を調整する	50
解像度を設定する	51
ファクスを受信する	52
手動モードでファクスを受信する	52
ファクス専用モードでファクスを受信する	53
ファクス/電話モードでファクスを受信する	53
ファクス/留守番電話モードでファクスを受信する	54
電源断レポートが印刷されたとき	55

4. パソコンからファクス機能を活用する (PC ファクス)

本機を接続する	57
USB ケーブルで接続する	57
ネットワークケーブルで接続する	58
IP アドレスの設定をする	60
IP アドレスを自動的に取得する	60
IP アドレスを手動で指定する	61
PC ファクスドライバーをインストールする	64
TCP/IP ポートに PC ファクスドライバーをインストールする	64
USB ポートに PC ファクスドライバーをインストールする	65
PC ファクスのアドレス帳を設定する	66
PC ファクスのアドレス帳を開く	66
あて先を登録する	67
あて先を修正する	68
グループを登録する	69
グループを修正する	69
あて先やグループを削除する	70
PC ファクスのアドレス帳をエクスポート/インポートする	70
基本的な PC ファクスの送り方	73
送信をキャンセルする	74
PC ファクスの送信設定を変更する	76
PC ファクスダイアログボックスで設定できる項目	76

5. ファクスの詳細設定

ファクス送信の設定	79
ファクス送信の設定を変更する	79
ファクス送信設定の項目	80
ファクスの機器設定	82
ファクスの機器設定を変更する	82
ファクスの機器設定項目	83
レポート印刷	86
ファクス通信管理レポートを印刷する	86
ファクス通信管理レポートの見かた	86

6. 困ったときには

思い通りにファクス機能が使えないとき	89
ファクス通信管理レポート / 送信レポートにエラーコードが記載された場合	89
その他の問題が発生した場合	91

索引	92
----------	----



1. はじめにお読みください

本マニュアルの使い方や表記について説明します。

1

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1. 複製、印刷することが禁止されているもの

(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)

- ・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- ・日本や外国の郵便切手、印紙

◆ (関係法律)

- ・紙幣類似証券取締法
- ・通貨及証券模造取締法
- ・郵便切手類模造等取締法
- ・印紙等模造取締法
- ・(刑法 第 148 条 第 162 条)

2. 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- ・外国の紙幣、貨幣、銀行券
- ・株券、手形、小切手などの有価証券
- ・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- ・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画

◆ (関係法律)

- ・刑法 第 149 条 第 155 条 第 159 条 第 162 条
- ・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3. 著作権法で保護されているもの

著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

おことわり

本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。

本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社はいっさいその責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft[®]、Windows[®]、MS-DOS[®]、Windows Server[®]、Windows Vista[®] は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Adobe[®]、Acrobat[®] は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の各国での商標です。

その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。




Windows オペレーションシステムの正式名称は以下のとおりです。



- Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] 2000 Professional
 - Microsoft[®] Windows[®] 2000 Server
 - Microsoft[®] Windows[®] 2000 Advanced Server
- Windows XP の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Professional
 - Microsoft[®] Windows[®] XP Home Edition
- Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Ultimate
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Business
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Home Premium
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Home Basic
 - Microsoft[®] Windows Vista[®] Enterprise
- Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Standard Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Enterprise Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Web Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 Datacenter Edition
- Windows Server 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 R2 Standard Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 R2 Enterprise Edition
 - Microsoft[®] Windows Server[®] 2003 R2 Datacenter Edition

- Windows Server 2008 の製品名は以下のとおりです。
 - Microsoft® Windows Server® 2008 Standard
 - Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise
 - Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter
 - Microsoft® Windows Server® 2008 for Itanium-based Systems
 - Microsoft® Windows® Web Server 2008
 - Microsoft® Windows® HPC Server 2008

使用説明書について

1 使用説明書の紹介

本機には紙の使用説明書   と画面で見る使用説明書（HTML/PDF）  が用意されています。

画面で見る使用説明書は付属の CD-ROM  に収録されています。説明書の開きかたや使いかたについては、『操作ガイド』  「操作ガイドの使いかた」を参照してください。

↓ 補足

- ・ HTML 形式の使用説明書は Web ブラウザーでご覧になれます。
- ・ PDF 形式の使用説明書をご覧になるには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Reader が必要です。

以下は本機で用意されている説明書の一覧です。

紙の使用説明書も画面で見る使用説明書も記載内容は同じです。

◆ 安全上のご注意

本機を安全にお使いいただくための注意事項を説明します。故障やけがを防ぐため、本機のご利用前に必ずお読みください。

◆ かんたんセットアップ

本機を箱から取り出し、基本操作が行えるまでの手順を説明しています。

◆ フォルダー送信設定ガイド

スキャナーのフォルダー送信機能をお使いいただくために必要なセットアップの手順と、基本的な操作方法を説明しています。

◆ ファクス設定・利用ガイド（本書）

ファクス機能をお使いいただくために必要なセットアップ手順、操作全般についての情報、本機の詳細設定に関する情報、および困ったときの対処方法を説明しています。

◆ 操作ガイド


操作全般についての情報、および以下の内容を説明しています。

- ・ オプションの取り付け
- ・ 各種ドライバーのインストール手順
- ・ 本機で使用できる用紙の情報
- ・ プリンター、コピー、スキャナー、およびファクス機能の操作手順
- ・ 本機の設定方法
- ・ 本機の機能が思い通りに使えないときの対処方法、および紙づまりの処置
- ・ 消耗品の交換手順
- ・ Web Image Monitor を使って本機の状態を確認する方法
- ・ 本機の保守点検に関する情報

◆ クイックガイド

困ったときの対処方法、およびコピー、スキャナー、ファクス送信の基本的な操作を説明しています。

E 参照

- ・操作ガイドの使いかたについて詳しくは、『操作ガイド』「操作ガイドの使いかた」を参照してください。

使用説明書一覧表

分冊名	紙マニュアル 	紙マニュアル 	画面で見る使用説明書  PDF 形式のマニュアル	画面で見る使用説明書  HTML 形式のマニュアル
安全上のご注意	有り	なし	有り ()	なし
かんたんセットアップ	なし	有り	有り ()	なし
フォルダー送信設定ガイド	なし	有り	有り ()	なし
ファクス設定・利用ガイド	有り	なし	有り ()	なし
操作ガイド	なし	なし	有り ()	有り ()
クイックガイド	有り	なし	有り ()	なし

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

★重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載しています。必ずお読みください。

↓補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

E 参照

各タイトルの一番最後に記載しています。説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

本書についてのご注意

1

本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。
画面の表示内容やイラストは機種、オプションによって異なります。
本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

2. ファクスを使う前に

本機をファクスとして使う前に必要な、電話回線への接続方法、日付や発信元の登録などの設定方法を説明します。

2

ファクス設定の流れ

ファクス設定の流れについて説明します。

1 設定項目を確認する。

ファクスを使用するために必要な設定値を確認します。

P.14 「設定項目を確認する」

2 電話回線に接続する。

ご使用の環境に応じて本機を接続します。

P.15 「電話回線に接続する」

3 電話回線の種別を選択する。

ご使用の電話回線サービスに合わせて、回線の種別を設定します。P.12 「回線種別の確認方法」を参照して、回線の種別を確認してください。

P.19 「電話回線の種別を選択する」

4 電話回線への接続方法を選択する。

電話回線への接続方法を選択します。

P.21 「電話回線への接続方法を選択する」

5 外線発信番号を設定する。

本機が構内交換機（PBX）を経由して電話回線に接続されているときは、外線発信番号を設定します。

P.23 「外線発信番号を設定する」

6 日時を設定する。

本機の内部時計の日時と、日時の表示形式を設定します。

P.24 「日時を設定する」

7 受信モードを選択する。

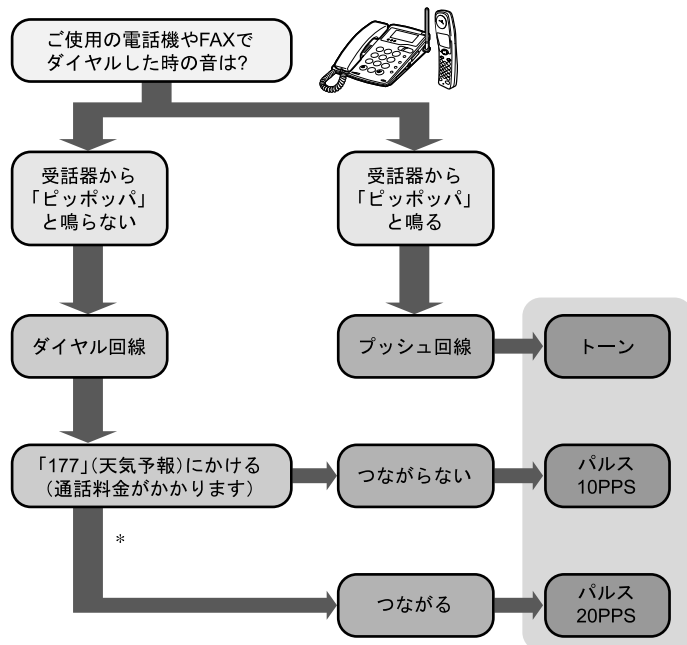
お使いの条件に応じて、受信モードを選択します。P.13 「受信モードの確認方法」を参照して、どのモードを選ぶか確認してください。

P.26 「受信モードを選択する」

↓ 補足

- ・受信モードを選択したら、ファクスの設定は終了です。発信元情報の確認や変更をした場合は、P.28 「発信元情報を登録する」を参照してください。

回線種別の確認方法

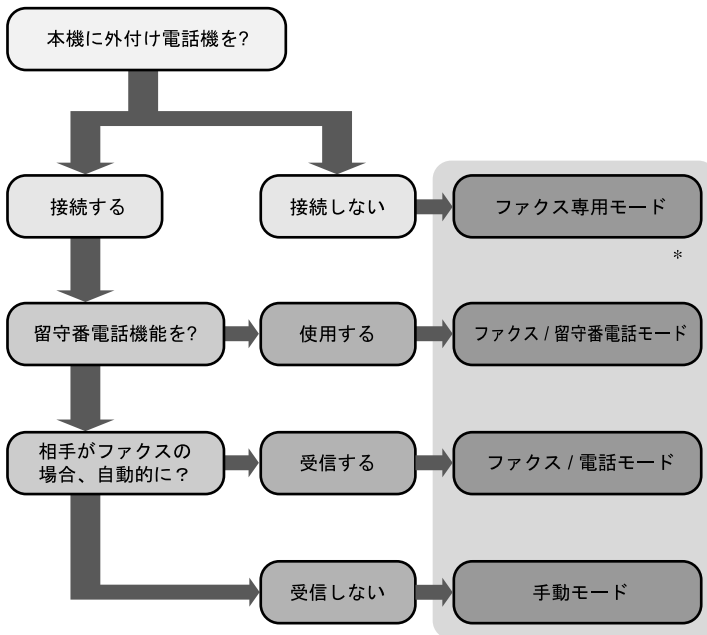


BSN401S

* : 「177」(天気予報)にかける前に、本機に電話線を接続して、回線種別を [パルス (20PPS)] に設定してください。P.15 「電話回線に接続する」、P.19 「電話回線の種別を選択する」を参照してください。

そのあと、本機の [ファクス] キーを押してから [オンフック] キーを押し、テンキーで「177」と入力します。つながった場合は、本機のスピーカーから音声聞こえます。確認後は、[クリア/ストップ] キーを押してください。

受信モードの確認方法



BSN402S

*：外付け電話機を接続した状態でも、ファクス専用モードを選択できます。詳しくは、P.26「受信モードを選択する」を参照してください。

設定項目を確認する



ファクス機能をご使用になるには、以下の項目を設定します。あらかじめ設定値の内容を確認してください。

ファクス設定項目一覧

設定項目	説明	設定値
A 接続環境	ご使用の環境に応じた接続をします。	<ul style="list-style-type: none"> ・一般電話 ・ADSL ^{*1} ・ISDN ^{*1} ・ひかり電話 ^{*1} ・内線電話 ^{*1}
B 回線種別	ご使用の電話回線サービスに合わせて、回線の種別を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> ・トーン（プッシュ回線） ・パルス 10PPS（ダイヤル回線） ・パルス 20PPS（ダイヤル回線）
C 接続方法	電話回線への接続方法を選択します。	<ul style="list-style-type: none"> ・外線（公衆交換電話網 [PSTN] に接続する場合） ・内線（構内交換機 [PBX] に接続する場合）
^{*2} 外線発信番号	外線への発信番号を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・外線アクセスコード（最大 3 桁） 例として、社内の内線電話から外線に電話をかけるときに、電話番号の先頭に数字を付けて電話をかけるような回線をご使用の場合に設定します。 設定例：0
D 日付の設定	本機の内部時計の日時と、日時の表示形式を設定します。	日付形式 年 (YYYY)、月 (MM)、日 (DD) <ul style="list-style-type: none"> ・MM/DD/YYYY ・DD/MM/YYYY ・YYYY/MM/DD 時刻形式 <ul style="list-style-type: none"> ・12 時間形式 (AM / PM) ・24 時間形式
E 受信モード	ご使用の条件に応じて、受信モードを選択します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ファクス専用 ・手動 ・ファクス / 電話 ・ファクス / 留守番電話
^{*3} 発信元登録	本機のユーザー名とユーザーファクス番号を設定します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー名 (半角英数字 / 半角カナで最大 20 文字) ・ユーザーファクス番号 (最大 20 桁)

*1：G3 回線にのみ対応しています。G4 回線には対応していません。

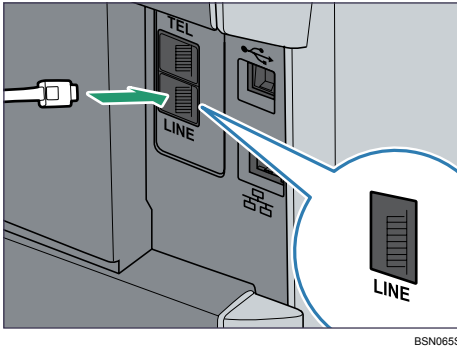
*2：接続方法で内線を選択した場合（PBX を経由して電話回線に接続する場合は、外線発信番号を設定します。

*3：ユーザー名とユーザーファクス番号は、本機の電源を最初に入れた時に登録を行います。詳しくは、『かんたんセットアップ』  を参照してください。登録した内容を変更する場合は、P28 「発信元情報を登録する」を参照してください。

電話回線に接続する

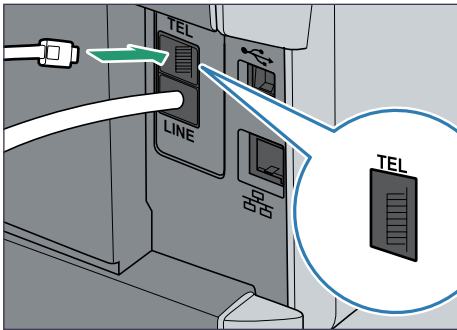
本機を P.14 「設定項目を確認する」の④で確認した環境に合わせて接続してください。

1 電話線を、「LINE」側に接続します。



BSN065S

2 外付け電話機を取り付ける場合は、「TEL」側に接続します。



BSN066S

↓ 補足

- ・外付け電話に搭載されている機能で、本機と互換性のないものについては、ご使用になれません。

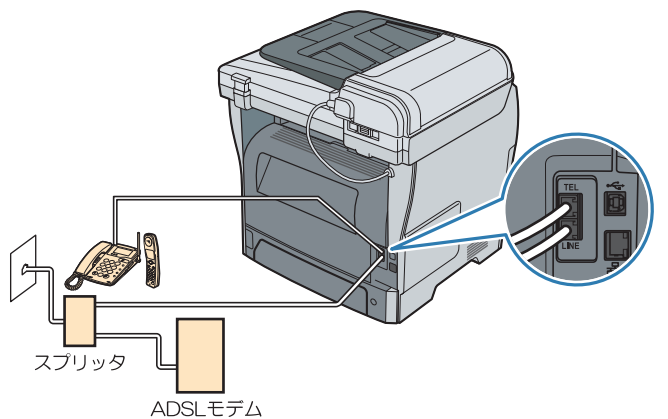
ADSL 環境への接続例

本機を ADSL 環境に接続する場合の接続例を示します。

★ 重要

- ・この接続は代表例であり、すべての接続を保証するものではありません。詳しい設定・接続方法に関しては、スプリッタ・ADSL モデムの取扱説明書を参照してください。

- ・ ブランチ接続（並列接続）はしないでください。一つの電話回線に複数台の電話機を接続すると、送信した画像品質が低下したり、正しくファクスの送信や受信ができないなど、通信エラーの原因となります。



↓ 補足

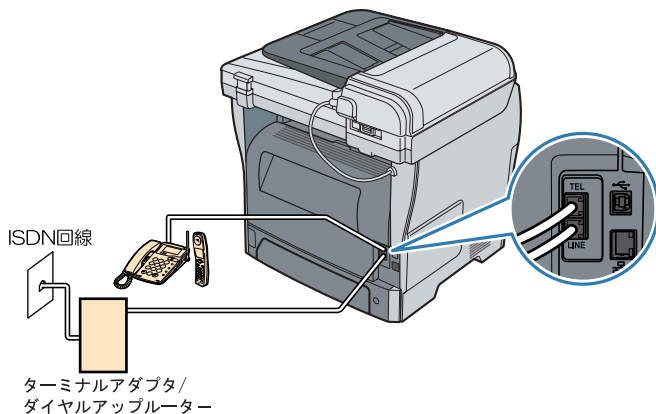
- ・ スプリッタと ADSL モデムが一体のものもあります。その場合は新たにスプリッタを介する必要はありません。

ISDN 環境への接続例

本機を ISDN 環境に接続する場合の接続例を示します。

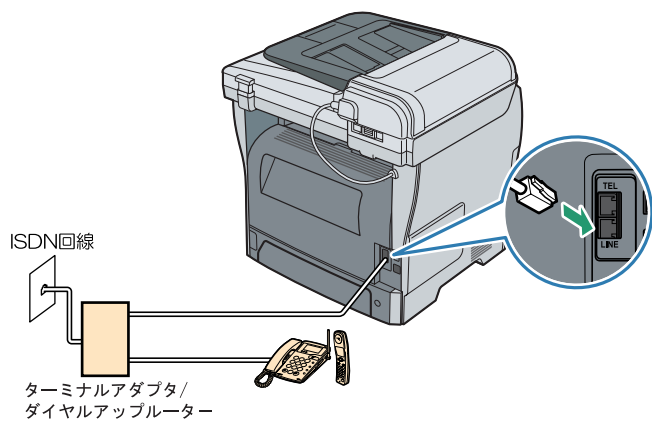
★ 重要

- ・ ISDN 回線への直接接続には対応していません。
 - ・ 詳しい説明については、ターミナルアダプタ、またはダイヤルアップルーターの取扱説明書を参照してください。
- ◆ **ファクス通信中に電話を使用しない場合**
ファクス通信中に電話を使用しない接続方法です。



◆ ファクス通信中に電話を使用できる場合

ファクス通信中に電話を使用できる接続方法です。外付け電話は、ターミナルアダプタ / ダイアルアップルーターに接続します。

**↓ 補足**

- ・ターミナルアダプタ、またはダイアルアップルーターのファクス番号が割り当てられているポートに本機を接続してください。
- ・受信モードを [ファクスセッテイ] の [ジュシンモード] で [ファクスセンヨウ] に設定してください。

目 参照

- ・受信モードについて詳しくは、P52 「ファクスを受信する」を参照してください。

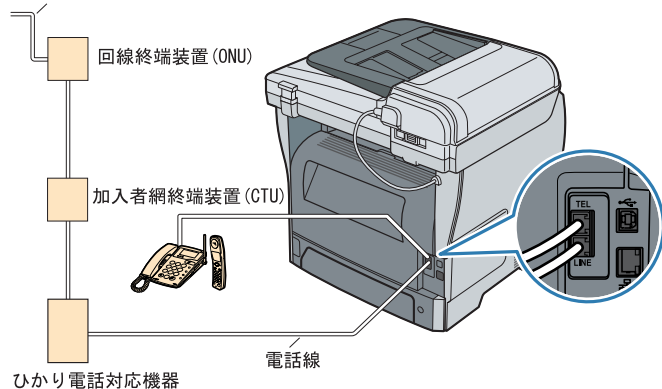
ひかり電話環境の接続例

本機をひかり電話環境に接続する場合の接続例を示します。

★重要

- ・下記接続は代表例であり、すべての接続を保証するものではありません。詳しい説明については、加入者網終端装置（CTU）などの取扱説明書を参照してください。
- ・お住まいの地域によっては配線方法や接続機器が異なる場合があります。
- ・ファクス接続が可能であることを事前に通信業者にご確認ください。

光ファイバーケーブル

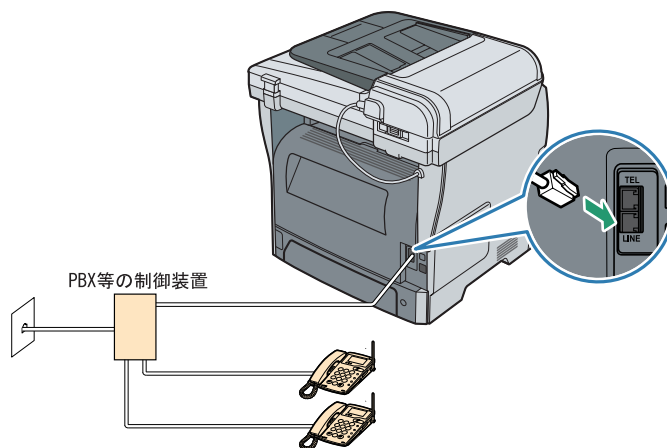


内線電話環境の接続例

本機を内線電話環境に接続する場合の接続例を示します。

★重要

- ・構内交換機 (PBX) などの制御装置に接続する場合は、接続装置に設定が必要となります。



電話回線の種別を選択する

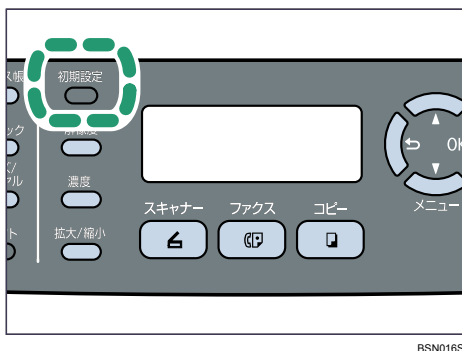
電話回線の種別を、P.14 「設定項目を確認する」の⑤で確認した種別に合わせて回線の種別を選択してください。

電話回線には、プッシュ（トーン）回線とダイヤル（パルス）回線の 2 種類があります。また、ダイヤル回線には 10PPS と 20PPS の 2 種類があります。回線の種別は、地域や環境によって異なります。

★重要

- ・P.12 「回線種別の確認方法」を参照して、ご使用の電話回線サービスをあらかじめご確認下さい。それでもご不明な場合は、サービスを提供している電話会社にお問い合わせください。
- ・本機はナンバー・ディスプレイに対応していません。ナンバー・ディスプレイを契約している回線に本機を接続してFAX受信を行う場合は、[ファクスセッテイ]の[ナンバーディスプレイ]を[ケイヤクシテイル]に変更してください。詳しくは、P.82 「ファクスの機器設定」を参照してください。

1 [初期設定] キーを押します。



2 [▲] [▼] キーを押して [カンリシャセッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し [OK] キーを押します。

工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。

4 [▲] [▼] キーを押して [カイセン センタク] を選び、[OK] キーを押します。

5 [▲] [▼] キーを押して、⑤で確認したご使用の電話回線サービスに合った種別を選び、[OK] キーを押します。

6 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

7 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- [↶] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

📖 参照

- 管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ] の [カンリシャメニューロック] で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』🔍「管理者設定」を参照してください。

電話回線への接続方法を選択する

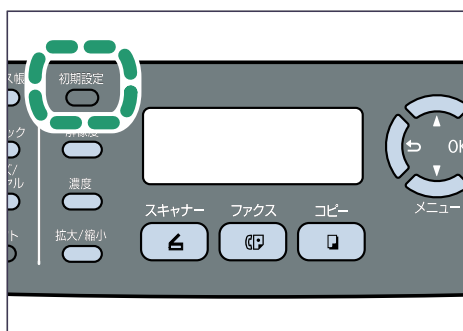
電話回線への接続方法を、P.14 「設定項目を確認する」の⑥で確認した方法に合わせて選択してください。

電話回線への接続方法には、公衆交換電話網(PSTN)と構内交換機(PBX)の2つがあります。

★重要

- ・一般的なご家庭などでご使用の場合は、[ガイセン] に設定してください。

1 [初期設定] キーを押します。



BSN016S

2 [▲] [▼] キーを押して [カンリシャセッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し [OK] キーを押します。

工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。

4 [▲] [▼] キーを押して [ナイセン センタク] を選び、[OK] キーを押します。

5 [▲] [▼] キーを押して、⑥で確認した接続方法（[ガイセン] か [ナイセン]）を選び、[OK] キーを押します。

PSTN に接続する場合は [ガイセン] を、PBX に接続する場合は [ナイセン] を選択してください。

6 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

7 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

- ・ [ガイセン] を選択した場合
P.24 「日時を設定する」に進んでください。
- ・ [ナイセン] を選択した場合
P.23 「外線発信番号を設定する」に進んでください。

↓ 補足

- [↶] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

📖 参照

- 管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ] の [カンリシャメニューロック] で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』🔍「管理者設定」を参照してください。

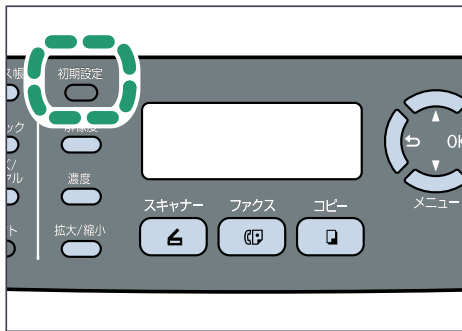
外線発信番号を設定する

PBX を経由して電話回線に接続するときは、外線発信番号を設定してください。

★重要

- ・ご使用の PBX の設定に合った外線発信番号を設定してください。設定が合っていないと、外線へのファクス送信を正常に行えない場合があります。

1 [初期設定] キーを押します。



2 [▲] [▼] キーを押して [カンリシャセッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し [OK] キーを押します。

工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。

4 [▲] [▼] キーを押して [ナイセンアクセスコード] を選び、[OK] キーを押します。

5 「ファクス設定項目一覧」で確認した外線発信番号をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。

6 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

7 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

↓補足

- ・[↵] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

📖参照

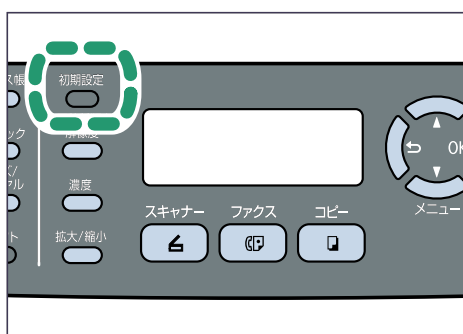
- ・管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ] の [カンリシャメニューロック] で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』📖「管理者設定」を参照してください。

日時を設定する

本機の内部時計の日時と日時の表示形式を、P.14 「設定項目を確認する」の⑤で確認した内容に合わせて設定してください。

- ・日付
年、月、日を設定し、日付形式 (MM/DD/YYYY、DD/MM/YYYY、YYYY/MM/DD) を選択します。
- ・時刻
時刻形式 (12 時間または 24 時間形式) を選択し、時、分 (および、12 時間形式を選択した場合は、AM/PM) を設定します。

1 【初期設定】 キーを押します。



BSN016S


- 2 【▲】 【▼】 キーを押して【カンリシャセッテイ】を選び、【OK】キーを押します。
- 3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、【OK】キーを押します。
工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。
- 4 【▲】 【▼】 キーを押して【ニチジ セッテイ】を選び、【OK】キーを押します。
- 5 【▲】 【▼】 キーを押して【ヒツケ セッテイ】を選び、【OK】キーを押します。
- 6 テンキーで現在の西暦を入力して、【OK】キーを押します。
【▲】 【▼】 キーを使って、数値を1ずつ変更できます。
- 7 テンキーで現在の月を入力して、【OK】キーを押します。
【▲】 【▼】 キーを使って、数値を1ずつ変更できます。
- 8 テンキーで現在の日付を入力して、【OK】キーを押します。
【▲】 【▼】 キーを使って、数値を1ずつ変更できます。
- 9 【▲】 【▼】 キーを押して日付形式を選び、【OK】キーを押します。
- 10 設定を確認してから【OK】キーを押します。

- 11** [▲][▼]キーを押して[ジコク セッテイ]を選び、[OK]キーを押します。
- 12** [▲][▼]キーを押して[24 ジカン ケイシキ]か[12 ジカン ケイシキ]を選び、[OK]キーを押します。
- 13** [12 ジカン ケイシキ]を選んだ場合は、[▲][▼]キーを押して[AM]か[PM]を選び、[OK]キーを押します。
- 14** テンキーで現在の時間を入力して、[OK]キーを押します。
- 15** テンキーで現在の分を入力して、[OK]キーを押します。
- 16** 設定を確認してから[OK]キーを押します。
- 17** [クリア/ストップ]キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- ・[↵]キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- ・存在しない日付は設定できません（例えば、年月を2008年4月に設定した場合、日付に31日を設定することはできません。）

E 参照

- ・管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ]の[カンリシャメニューロック]で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』「管理者設定」を参照してください。

受信モードを選択する

本機のファクス受信モードを、P.14 「設定項目を確認する」の③で確認したモードに合わせて選択してください。

★重要

- ・外付け電話機を接続した場合でも、呼び出し音は本機のスピーカーから鳴ります。本機には外付け電話機の呼び出し音を鳴らす機能がありません。
- ・[ファクスセッテイ]の[ルスデンフクメタ ソウリングカイスウ]で設定した回数の呼び出し音が鳴ったら、ファクス受信が開始されます。お使いの留守番電話機を、ファクス受信が始まる前に応答するように設定してください。

◆ファクス専用で使う場合

外付け電話機や留守番電話機が接続されていない場合は、ファクス専用モードを選択してください。

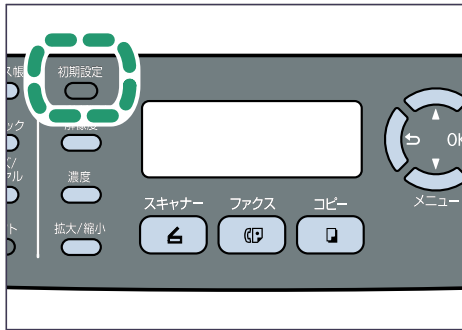
- ・ファクスセンヨウ（ファクス専用モード）
すべての着信に対して、自動的にファクス受信を開始します。

◆本機に外付け機器を取り付ける場合

外付け電話機や留守番電話機が接続されている場合は、以下のいずれかのモードを選択します。



- ・シュドウ（手動モード）
電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、手動でファクスに切り替えて受信します。
- ・ファクスセンヨウ（ファクス専用モード）
すべての着信に対して、設定された回数で外付け電話機が鳴ったあと、自動的にファクス受信を開始します。
- ・ファクス/デンワ（ファクス/電話モード）
電話がかかってきたら、外付け電話機を上げて[ファクス]キーを押し、[クリア/ストップ]キーを押して通話します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。
- ・ファクス/ルスバンデンワ（ファクス/留守番電話モード）
受信モードがファクス/留守番電話モードのときは、外付けの留守番電話機が応答し、電話の場合はメッセージを録音します。ファクスの場合は、自動的にファクスを受信します。

1 [初期設定] キーを押します。




BSN016S



2

- 2 [▲] [▼] キーを押して [ファクスセッテイ] を選び、[OK] キーを押します。
- 3 [▲] [▼] キーを押して [ジュシン セッテイ] を選び、[OK] キーを押します。
- 4 [▲] [▼] キーを押して [ジュシンモード] を選び、[OK] キーを押します。
- 5 [▲] [▼] を押して、 で確認した受信モードを選び、[OK] キーを押します。
- 6 設定を確認してから、 キーを押します。
- 7 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

補足

- ・  キーを押すと、前のメニューに戻ります。

参照

- ・ [ルスデンフクメタ ソウリンググカイスウ] について詳しくは、P82 「ファクスの機器設定」を参照してください。
- ・ ファクスのかんたんな使い方は『クイックガイド』  を参照してください。

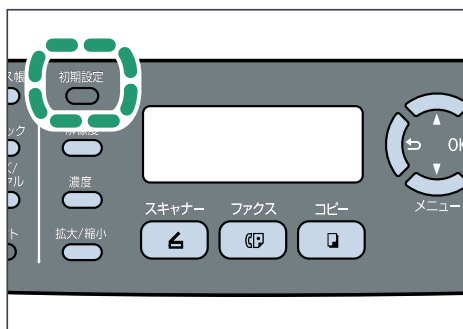
発信元情報を登録する

発信元の情報（ユーザーファクス番号とユーザー名）の設定方法について説明します。ここで設定したユーザーファクス番号とユーザー名が、相手先のファクスに通知される、本機のファクス番号とファクス名になります。

本機の電源を初期投入した時に、本機のユーザーファクス番号とユーザー名の登録を行ないませんが、必要に応じて登録した内容を変更できます。

2

1 [初期設定] キーを押します。



BSN016S

2 [▲] [▼] キーを押して [カンリシャセッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。

工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。

4 [▲] [▼] キーを押して [ユーザー セッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

5 [▲] [▼] キーを押して [ユーザーファクスバングウ] を選び、[OK] キーを押します。

すでに登録されている内容を変更するには、ここで [クリア / ストップ] キーを押して設定をクリアしてください。

6 テンキーで本機のファクス番号（最大 20 桁）を入力し、[OK] キーを押します。

0~9 までの数字、「+」、およびスペースが使用できます。

「+」を入力するには、テンキーの 0 を 2 回続けて押します。もう一度押すと「0」に戻ります。

「00」と入力するには、テンキーの 0 を押して、[▼] キーを押してから、もう一度テンキーの 0 を押します。

7 [▲] [▼] キーを押して [ユーザーメイ] を選び、[OK] キーを押します。
すでに登録されている内容を変更するには、ここで [クリア / ストップ] キーを押して設定をクリアしてください。

8 テンキーで本機のファクス名(半角英数字 / 半角カナで最大 20 文字)を入力し、[OK] キーを押します。




数字、文字、および記号が使用できます (漢字・ひらがなは使用できません)。

9 [クリア / ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- ファクス送信設定の [ハッシンモト ジョウホウインジ] 設定を有効にすると登録したユーザーファクス番号、ユーザー名、および送信日時が、送信するすべてのファクスのヘッダーに表示されます。

☰ 参照

- [ハッシンモト ジョウホウインジ] について詳しくは、P.79 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』  「文字を入力する」を参照してください。
- 管理者パスワードは、[カンリシャセツテイ] の [カンリシャメニューロック] で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』 「管理者設定」を参照してください。

3. ファクス機能を使う

ファクス機能について説明します。

ファクスモード画面

ファクスモードの画面について説明します。

初期設定では、電源を入れるとコピーモード画面が表示されます。

コピーかスキャナーモード画面が表示される場合は、操作部の [ファクス] キーを押してファクスモード画面に切り替えてください。

◆ 初期画面

ソウサカノウ	07-09
フツウジ	01:30

- ・ 上段：
本機の現状および現在の日付を表示します。
- ・ 下段：
現在の解像度設定および時刻を表示します。

↓ 補足

- ・ 本機の電源を入れたときのモードは、[カンリシャセッテイ] の [デフォルトモード] で設定できます。
- ・ 日時の表示形式は、[カンリシャセッテイ] の [ニチジ セッテイ] で設定できます。

目 参照

- ・ [デフォルトモード] については、『操作ガイド』⑧「管理者設定」を参照してください。
- ・ [ニチジ セッテイ] については、P.24 「日時を設定する」を参照してください。

ファクスのあて先を登録する

操作部を使ってアドレス帳にあて先を登録する方法について説明します。アドレス帳を使用すると、ファクスのあて先をすばやく簡単に指定できます。

★重要

- ・アドレス帳のデータは、不意に破損したり、失われることがあります。弊社では、データの喪失によるあらゆる損害に対する一切の責任を負いかねます。アドレス帳のバックアップファイルを定期的に作成してください。

アドレス帳には、最大 70 件登録できます。(ワンタッチダイヤル 20 件および短縮ダイヤル 50 件)

◆ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルに登録したあて先は、ワンタッチキーで選択できます。

◆短縮ダイヤル

短縮ダイヤルに登録したあて先は、[アドレス帳] キーで選択できます。

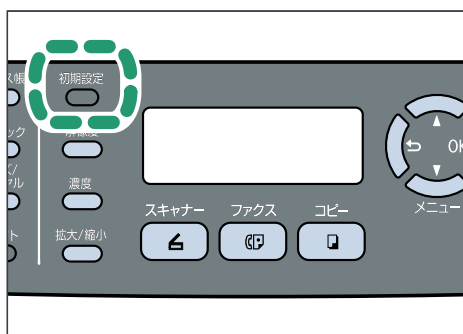
📖参照

- ・あて先は、Web Image Monitor からでも登録できます。詳しくは、『操作ガイド』🔍「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。
- ・バックアップファイルの作成について詳しくは、『操作ガイド』🔍「本機の設定をバックアップする」を参照してください。

操作部であて先を登録する

操作部を使ってあて先を登録する方法について説明します。

1 [初期設定] キーを押します。



BSN016S

2 [▲] [▼] キーを押して [ファクス アドレスチョウ] を選び、[OK] キーを押します。




3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。

- 4 [▲] [▼] キーを押し、[ワンタッチキー ニュウリョク]、または [タンシユクダイヤル ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。
- 5 [▲] [▼] キーを押し、ワンタッチダイヤル (01~20) または短縮ダイヤル (01~50) を選び、[OK] キーを押します。
- 6 [▲] [▼] キーを押し、[ファクス No. ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。
- 7 ファクス番号 (最大 40 桁) を入力し、[OK] キーを押します。
- 8 [▲] [▼] キーを押し、[ファクスメイ ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。
- 9 あて先名 (半角英数字 / 半角カナで最大 20 文字) を入力し、[OK] キーを押します。
- 10 設定を確認してから [OK] キーを押します。
- 11 [クリア / ストップ] キーを押し、初期画面に戻ります。

↓ 補足

- ・ [↩] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- ・ ファクス番号には、0~9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、およびスペースが使用できます。
- ・ あて先名に漢字・ひらがなは入力できません。
- ・ 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ ジカンセツテイ] で設定できます。
- ・ パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- ・ [カンリシャメニュー ロック] で、[ファクス アドレスチョウ] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

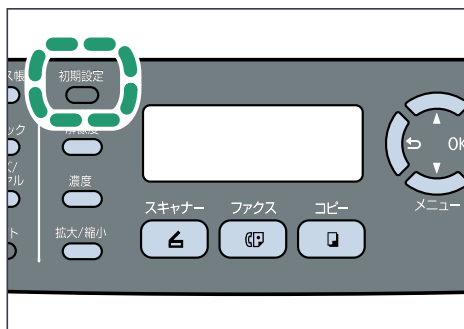
目 参照

- ・ 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』  「文字を入力する」を参照してください。
- ・ [ポーズ ジカンセツテイ] について詳しくは、P.79 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- ・ [カンリシャメニュー ロック] について詳しくは、『操作ガイド』 「管理者設定」を参照してください。

あて先を修正する

登録したあて先を修正する方法について説明します。

1 【初期設定】 キーを押します。



BSN016S

2 [▲] [▼] キーを押して [ファクス アドレスチョウ] を選び、[OK] キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。

4 [▲] [▼] キーを押して、[ワンタッチキー ニュウリョク]、または [タンシユクダイヤル ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。

5 [▲] [▼] キーを押して該当するあて先を選び、[OK] キーを押します。

6 [▲] [▼] キーを押して [ファクス No. ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。

文字を削除する場合は、削除したい文字にカーソルを置いて、[▲] キーを長押しします。文字をすべてクリアする場合は、[クリア/ストップ] キーを押します。

7 必要に応じて番号を修正し、[OK] キーを押します。

8 [▲] [▼] キーを押して [ファクスメイ ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。

文字を削除する場合は、削除したい文字にカーソルを置いて、[▲] キーを長押しします。文字をすべてクリアする場合は、[クリア/ストップ] キーを押します。




9 必要に応じてあて先名を修正し、[OK] キーを押します。

10 設定を確認してから [クリア/ストップ] キーを押します。

↓ 補足

- ・ [↶] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- ・ [カンリシャメニュー ロック] で、[ファクス アドレスチョウ] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

E 参照

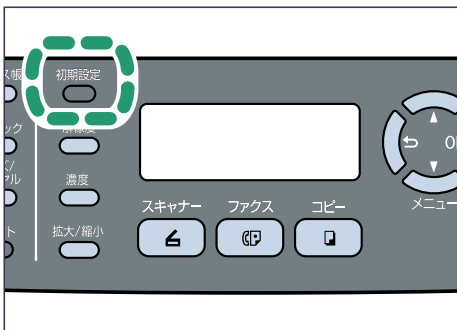
- ・文字入力について詳しくは、『クイックガイド』  「文字を入力する」を参照してください。
- ・[カンリシャメニュー ロック] について詳しくは、『操作ガイド』 「管理者設定」を参照してください。

あて先を削除する

あて先の登録情報を削除する方法について説明します。

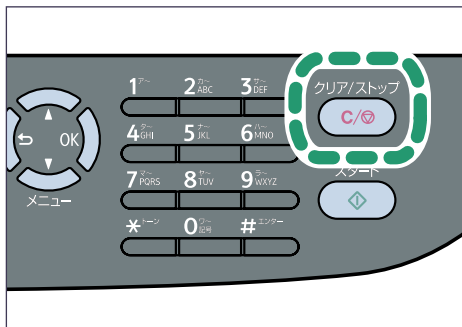
3

- 1 【初期設定】 キーを押します。



- 2 [▲] [▼] キーを押して [ファクス アドレスチャウ] を選び、[OK] キーを押します。
- 3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し、[OK] キーを押します。
- 4 [▲] [▼] キーを押し、[ワンタッチキー ニュウリョク]、または [タンシユクダイヤル ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。
- 5 [▲] [▼] を押して該当するあて先を選び、[OK] キーを押します。
- 6 [▲] [▼] キーを押して [ファクス No. ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。

- 7** [クリア/ストップ] キーを押して、ファクス番号を削除し、[OK] キーを押します。



BSN031S

3

- 8** [▲] [▼] キーを押して [ファクスメイ ニュウリョク] を選び、[OK] キーを押します。
- 9** [クリア/ストップ] キーを押して、あて先名を削除し、[OK] キーを押します。
- 10** 情報が削除されていることを確認してから、[クリア/ストップ] キーを押します。

↓ 補足

- [↶] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- [カンリシャメニュー ロック] で、[ファクス アドレスチョウ] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。

📖 参照

- [カンリシャメニュー ロック] について詳しくは、『操作ガイド』📖「管理者設定」を参照してください。

ファクスを送信する

ファクスの送信モードと、ファクスを送信する際の基本操作について説明しています。

★重要

- ・重要な書類を送信する場合は、事前に受信者と確認しておくことをお勧めします。
- ・メモリー送信モードでファクスを送っている途中で問題が起こった場合は、ファクスの内容はメモリーに保存されます。本機の電源が切れた状態でも、保存されたファクスは約1時間メモリーに保持されます。

送信モードを選択する

送信モードの選択方法について説明します。
送信モードには、メモリー送信と直接送信があります。

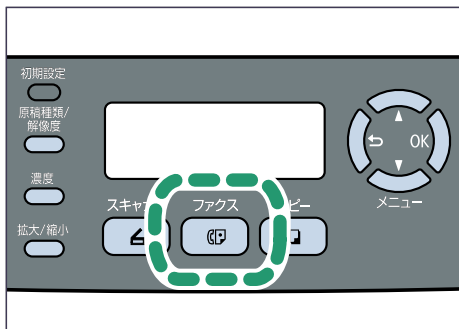
◆メモリー送信

このモードでは、原稿をいったんメモリーに読み込んでから一度に送信します。このモードを使用すると、複数のあて先にファクスを送信できます。

◆直接送信

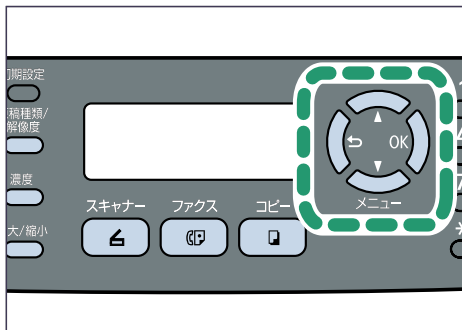
このモードでは、原稿が読み取りと同時にファクス送信され、メモリーには保存されません。このモードで指定できるあて先は、1件のみです。

1 [ファクス] キーを押します。



BSN042S

2 メニューキーを押します。



BSN035S

3 [▲] [▼] キーを押して [チョクセツ ソウシン] を選び、[OK] キーを押します。

4 [▲] [▼] キーを押して [シナイ]、[スル]、または [ツギノ ソウシンノミ] を選び、[OK] キーを押します。

メモリー送信の場合は、[シナイ] を選択します。

直接送信の場合は、[スル] または [ツギノ ソウシンノミ] を選択します。

設定が変更されると、新しい設定に「*」が表示されます。

5 設定を確認してから、[↶] キーを押します。

6 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- ・工場出荷時は、[チョクセツ ソウシン] は [シナイ] に設定されています。
- ・[↶] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

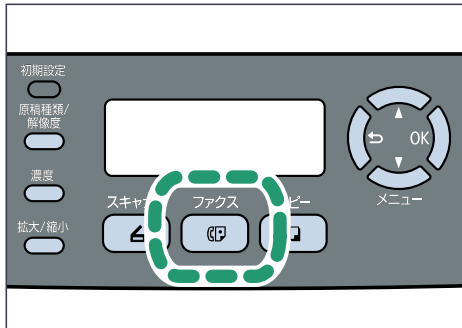
基本的なファクスの送りかた

ファクス送信の基本的な操作について説明します。

★重要

- ・ ADF と原稿ガラスの両方に原稿がセットされているときは、ADF の原稿が優先されます。

1 [ファクス] キーを押します。

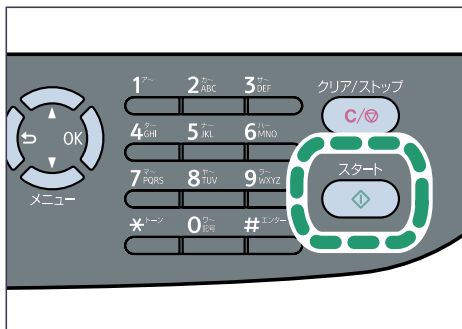


BSN042S

2 原稿ガラスの上か ADF に原稿をセットします。 必要に応じて、読み取り方法を設定してください。

3 テンキーでファクス番号 (最大 40 桁) を入力します。

4 [スタート] キーを押します。



BSN030S

メモリー送信モードで原稿ガラスを使用すると、追加の原稿をセットするようにメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。

5 他にも読み取る原稿がある場合は、60 秒以内に [1] を押し、原稿ガラスに原稿をセットしてから、[OK] キーを押します。この手順を繰り返し、すべての原稿を読み取ってください。

60 秒以内に [1] が押されなかった場合は、本機はあて先へのダイヤルを開始します。





ツギノページ
[1] ハイ [2] イイエ

6 すべての原稿を読み取ったら、[2] を押してファクスを送信します。

補足

- ファクス番号には、0~9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、およびスペースが使用できます。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信設定の [ポーズ ジカンセッテイ] で設定できます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- あて先は、ワンタッチキー、短縮ダイヤル、またはリダイヤルで指定することもできます。また、複数のあて先に対して同報送信することも可能です。
- メモリー送信の場合は、ファクス送信設定の [ジドウリダイヤル] 設定を有効にすると、回線が使用中だったりエラーが起きた場合などに、あて先が自動的にリダイヤルされます。
- メモリー送信のときは、原稿読み取り中にメモリーが一杯になることがあります。この場合、送信を中止するか、または読み取りが完了したページまでを送信できます。
- ADF で紙づまりが発生した場合は、そのページは正しくスキャンされていません。直接送信モードだった場合は、つまったページから送信し直してください。メモリー送信モードだった場合は、すべてのページを送信し直してください。

参照

- 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』  「文字を入力する」を参照してください。
- 原稿をセットするには、『操作ガイド』 「原稿をセットする」を参照してください。
- 読み取り方法を設定するには、P50 「読み取り方法を設定する」を参照してください。
- あて先を指定するその他の方法については、P42 「あて先を指定する」を参照してください。
- [ジドウリダイヤル]、[ポーズ ジカンセッテイ] について詳しくは、P79 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- ADF でつまった紙を取り除く方法について詳しくは、『操作ガイド』 「ADF から紙づまりを取り除く」を参照してください。

送信をキャンセルする

ファクス送信をキャンセルする方法について説明します。

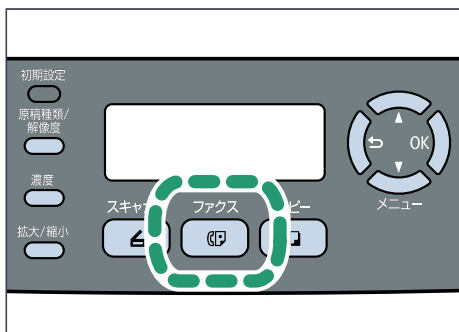
◆ 直接送信の場合

原稿の読み取り中にファクス送信をキャンセルすると、ファクス送信が即座にキャンセルされます。その場合、相手先の機械にエラーが表示されます。

◆ メモリー送信の場合

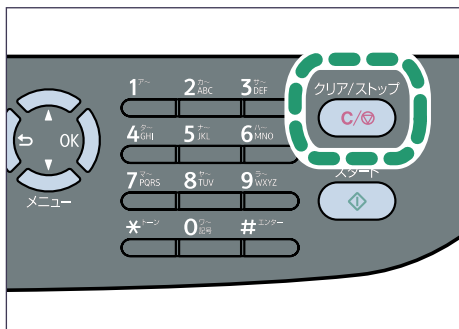
原稿の読み取り中にファクス送信をキャンセルすると、原稿は送信されません。送信中にファクス送信をキャンセルすると、即座にファクス送信がキャンセルされます。その場合、相手先の機械にエラーが表示されます。

1 【ファクス】 キーを押します。



BSN042S

2 【クリア/ストップ】 キーを押します。



BSN031S

↓ 補足

- ・ 同報送信中にファクス送信をキャンセルすると、現在送信中のあて先のみがキャンセルされます。後続のあて先には通常通り送信されます。

目 参照

- ・ 同報送信機能について詳しくは、P.45「同報送信のあて先を指定する」を参照してください。

あて先を指定する

ファクスのあて先を指定する方法について説明します。

テンキーであて先を入力するほかに、以下の方法でもあて先を指定できます。

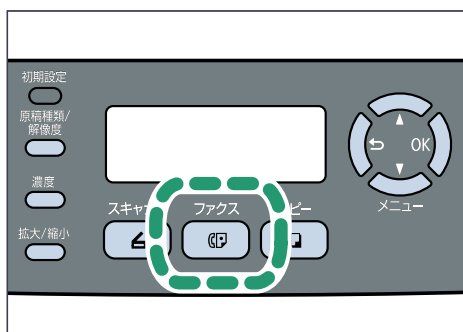
- ・ワンタッチキーを使う
- ・短縮ダイヤルを使う
- ・同報送信を使う
- ・リダイヤル機能を使う

3

ワンタッチキーであて先を指定する

ワンタッチキーを使って、ワンタッチダイヤルに登録されているあて先を選択する方法について説明します。

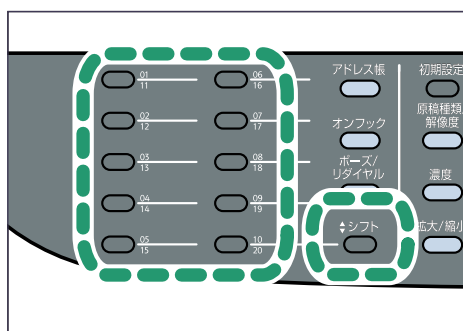
1 [ファクス] キーを押します。



BSN042S

2 かけたいあて先が登録されているワンタッチキーを押します。

ワンタッチダイヤルの 11~20 を使用する場合は、ワンタッチキーを押す前に [シフト] キーを押してください。



BSN040S

補足

- ・レポートを印刷して、登録したあて先名およびファクス番号を確認できます。

E 参照

- ・ワンタッチダイヤルを登録する方法について詳しくは、P.32 「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。
- ・ワンタッチダイヤルリストを印刷する方法について詳しくは、『操作ガイド』⑧「レポート印刷」を参照してください。

短縮ダイヤルであて先を指定する

短縮ダイヤルに登録されているあて先を選択する方法について説明します。

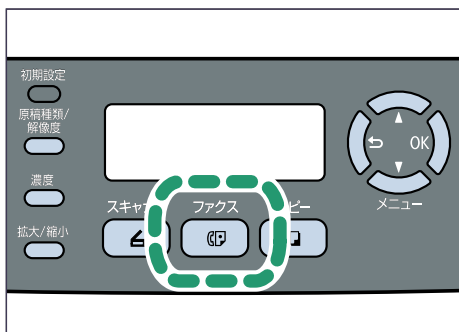
あて先を選択する方法は2つあります。

- ・短縮ダイヤルの番号を入力する
- ・短縮ダイヤルの登録のあて先名から検索する

3

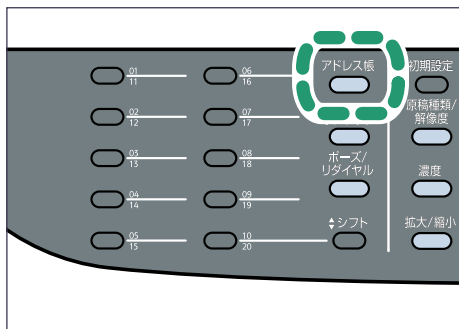
■ 短縮ダイヤルの番号を入力する

1 [ファクス] キーを押します。



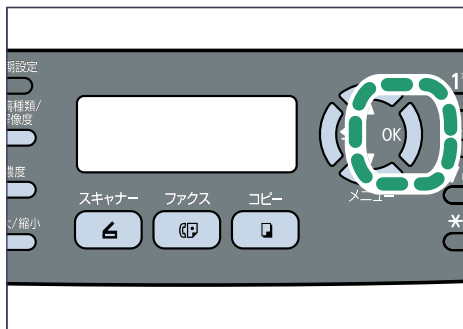
BSN042S

2 [アドレス帳] キーを2回押します。



BSN039S

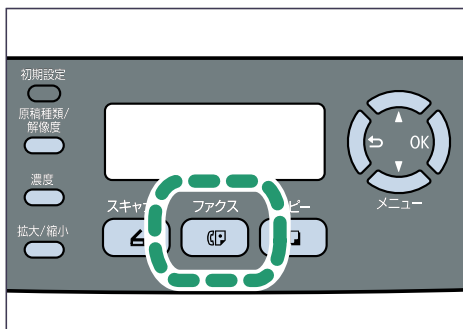
- 3** 短縮ダイヤルの登録番号（1～50）をテンキーで入力し、[OK] キーを押します。



BSN043S

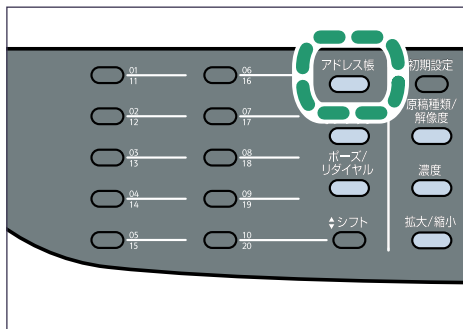
■ 短縮ダイヤルの登録のあて先名から検索する

- 1** [ファクス] キーを押します。



BSN042S

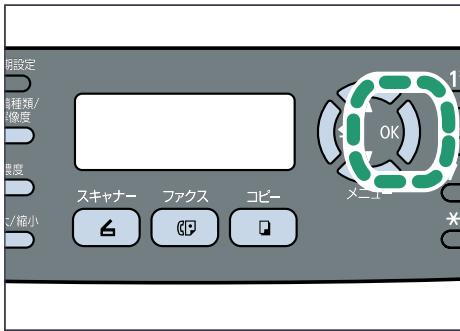
- 2** [アドレス帳] キーを押します。



BSN039S

- 3** [▲] [▼] キーを押してアドレス帳をスクロールするか、テンキーであて先の名前を入力してあて先を検索します。
文字を入力していくと、一致するあて先が画面に表示されます。

4 該当のあて先が表示されたら、[OK] キーを押します。



BSN043S

3

補足

- ・アドレス帳からは短縮ダイヤルのみ検索できます。ワンタッチダイヤルは検索できません。
- ・レポートを印刷して、登録したあて先名およびファクス番号を確認できます。

参照

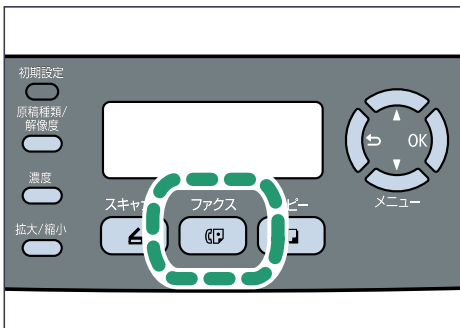
- ・文字入力について詳しくは、『クイックガイド』 「文字を入力する」を参照してください。
- ・短縮ダイヤルを登録する方法について詳しくは、P32 「ファクスのあて先を登録する」を参照してください。
- ・短縮ダイヤルリストを印刷する方法について詳しくは、『操作ガイド』 「レポート印刷」を参照してください。

同報送信のあて先を指定する

同時に複数のあて先へファクスを送信できます。最大 100 件のあて先への同報送信が可能です。

あて先を指定した順番で、ファクスが送信されます。

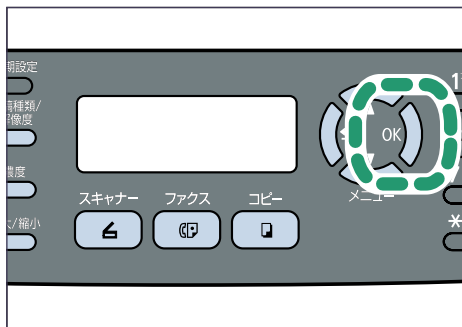
1 [ファクス] キーを押します。



BSN042S

2 ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、またはテンキーであて先を指定します。

- 3** [OK] キーを押します。短縮ダイヤルであて先を指定した場合は、もう一度 [OK] キーを押してください。



BSN043S

これらの手順を繰り返して、あて先を追加してください。

↓ 補足

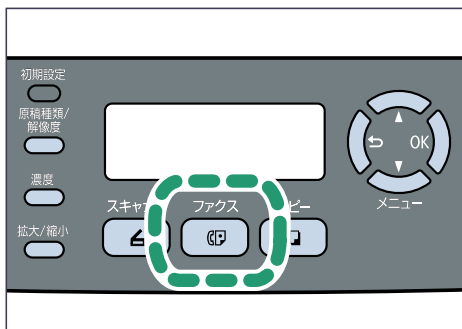
- 複数のあて先を選択中に [クリア / ストップ] キーを押すと、すべてのあて先をキャンセルできます。
- 直接送信モードで複数のあて先を指定すると、一時的にメモリー送信モードに変わります。

リダイヤル機能であて先を指定する

最後に使用したあて先を指定できます。

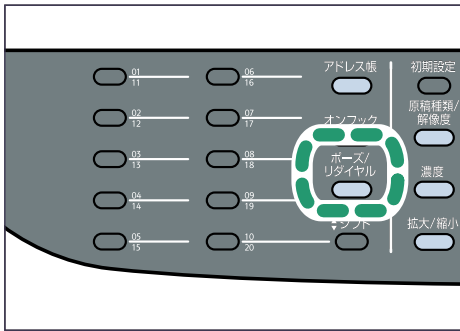
この機能は、あて先を毎回入力する必要がないため、続けて同じ番号へファクス送信するときに便利です。

- 1** [ファクス] キーを押します。



BSN042S

2 [ポーズ/リダイヤル] キーを押します。



BSN041S

3

便利な送信方法

便利なファクス機能について説明します。

オンフックダイヤルを使うと、ファクスを送信する前に相手の状況を簡単に確認できます。外付けの電話機がある場合は、通話とファクス送信が一度の電話で行えます。

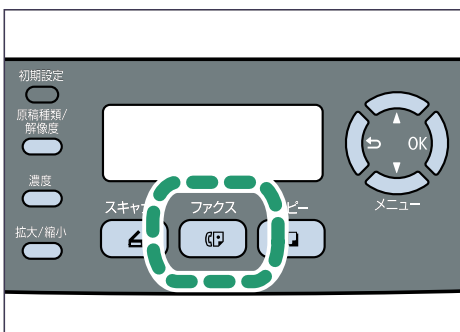
★重要

- ・この機能を使用できるのは、直接送信モードのみです。

■オンフックダイヤルで送信する

オンフックダイヤルでは、内部スピーカの呼び出し音を聞きながら送信状況を確認できます。確実にファクスを送りたいときに便利です。

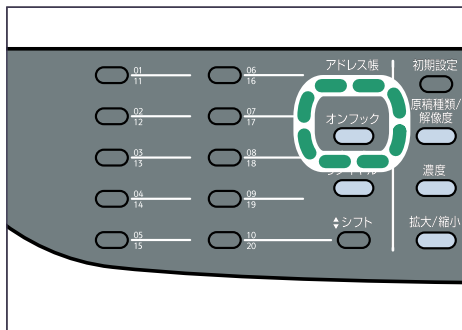
1 [ファクス] キーを押します。



BSN042S

2 原稿をセットします。

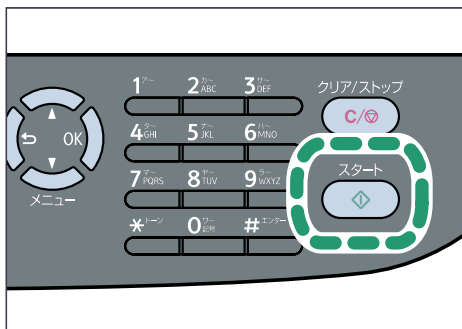
3 [オンフック] キーを押します。



BSN044S

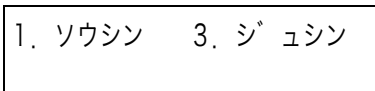
3

4 テンキーであて先を指定し、[スタート] キーを押します。



BSN030S

5 [1] を押してから、[スタート] キーを押します。

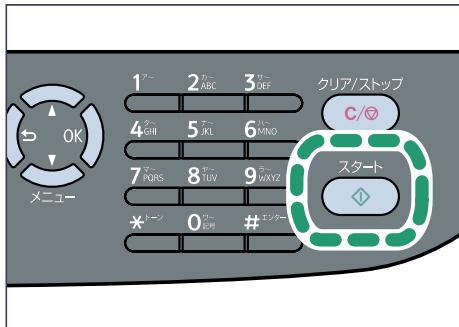


■ 通話後にファクスを送信する

外付け電話機を使うと、通話後電話を切らずにそのままファクス送信できます。確実にファクスを送りたいときに便利です。

- 1** 原稿をセットします。
- 2** 外付け電話機を受話器を上げます。
- 3** 外付け電話機であて先をダイヤルします。
- 4** 相手が応答したら、ファクスのスタートボタンを押してもらいます。

- 5** ファクス音が聞こえたら、[ファクス] キーを押し、[スタート] キーを押します。



BSN030S

- 6** [1] を押してから、[スタート] キーを押します。

1. ソウシン 3. ジュシン

- 7** 受話器を置きます。

E 参照

- 外付け電話機の接続方法について詳しくは、P.15 「電話回線に接続する」を参照してください。
- 送信モードの選択について詳しくは、P.37 「送信モードを選択する」を参照してください。

読み取り方法を設定する

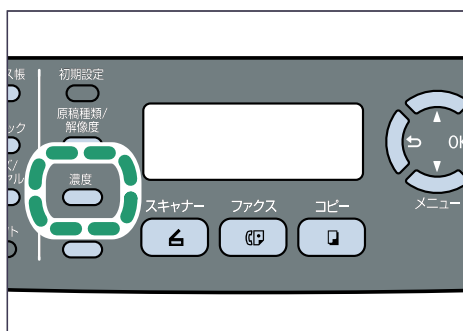
濃度と解像度を調整する方法について説明します。

濃度を調整する

濃度の調整方法について説明します。

濃度は3段階で調整します。濃度レベルが濃くなるほど、画像が濃くなります。

1 [濃度] キーを押します。




BSN036S

2 [濃度] キーか [▲] [▼] キーを押して濃度を選び、[OK] キーを押します。

補足

- ・変更を取り消して初期画面に戻るには、[↩] キー、または [クリア/ストップ] キーを押します。
- ・常に特定の濃度で原稿を読み取りたい場合は、本機の初期設定の [ノウド] で設定を変更できます。
- ・一時的に行った設定は、以下の場合にクリアされます。
 - ・初期画面表示中、[ジドウリセット] で設定した時間内に入力がなかった場合
 - ・初期画面表示中に [クリア/ストップ] キーを押した場合
 - ・モード変更した場合
 - ・電源を切った場合
 - ・設定した項目の初期値が変更された場合

参照

- ・[ノウド] について詳しくは、P.79 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- ・[ジドウリセット] について詳しくは、『操作ガイド』 「管理者設定」を参照してください。

解像度を設定する

解像度を設定する方法について説明します。

解像度は3段階で調整します。

◆ 普通字

文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。

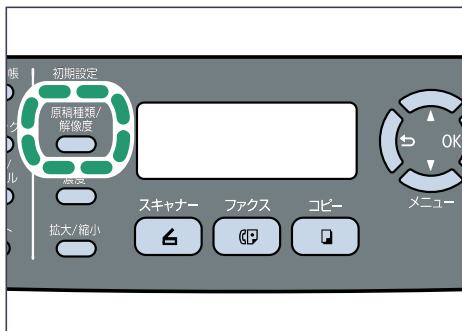
◆ 小さな字

文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。

◆ 写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

1 【原稿種類 / 解像度】 キーを押します。



BSN037S

2 【原稿種類 / 解像度】 キーか [▲] [▼] キーを押して解像度を選び、[OK] キーを押します。

↓ 補足

- ・変更を取り消して初期画面に戻るには、[↵] キー、または [クリア / ストップ] キーを押します。
- ・常に特定の解像度で原稿を読み取りたい場合は、本機の初期設定の [カイゾウド] で設定を変更できます。
- ・一時的に行った設定は、以下の場合にクリアされます。
 - ・初期画面表示中、[ジドウリセット] で設定した時間内に入力がない場合
 - ・初期画面表示中に [クリア / ストップ] キーを押した場合
 - ・モード変更した場合
 - ・電源を切った場合
 - ・設定した項目の初期値が変更された場合

📖 参照

- ・[カイゾウド] について詳しくは、P.79 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- ・[ジドウリセット] について詳しくは、『操作ガイド』🔍 「管理者設定」を参照してください。

ファクスを受信する

ファクスの受信モードと、ファクスを受信する際の基本操作について説明しています。

★重要

- ・重要なファクスを受信するときは、送信者にファクスの内容を確認することをお勧めします。
- ・メモリーの空き容量が少ないときには、ファクスを受信できない場合があります。
- ・印刷中に問題が起こった場合は、ファクスの内容はメモリーに保存されます。保存された受信文書は、問題解決後、すぐに印刷されます。本機の電源が切れた状態でも、保存されたファクスは約1時間メモリーに保持されます。

↓補足

- ・本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。
- ・受信ファクスの印刷に使用できる用紙は、A4、Letter、Legal サイズのみです。
- ・トレイ 2 が装着されている場合は、[ファクスヨウトレイ] 設定で、どちらのトレイから給紙するか選択できます。
- ・受信したファクスを印刷するとき、印刷可能範囲の中にある画像は印刷されますが、印刷可能範囲の外にある画像は印刷されません。

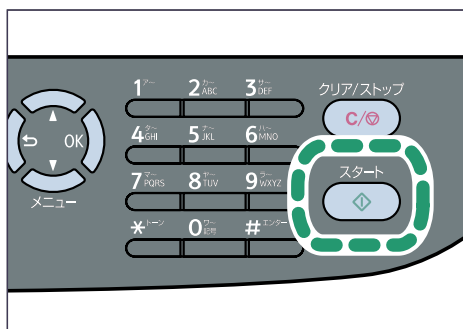
E参照

- ・外付け電話機と本機の接続方法について詳しくは、P15 「電話回線に接続する」を参照してください。
- ・[ファクスヨウトレイ] について詳しくは、P82 「ファクスの機器設定」を参照してください。

手動モードでファクスを受信する

手動モードでファクスを受信する基本的な操作について説明しています。

- 1** 電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。
通常の通話状態になります。
- 2** ファクス音が聞こえたら、[ファクス] キーを押し、[スタート] キーを押します。



BSN030S

3 [3] を押します。

1. ソウシン	3. シ ュシン
---------	----------

4 [スタート] キーを押します。**5** 受話器を置きます。

ファクス専用モードでファクスを受信する

受信モードがファクス専用モードのときは、本機はすべての着信に対して、自動的にファクス受信を開始します。

↓ 補足

- ・外付け電話機を接続すると、ファクスの自動受信を開始する前に、[ファクスセットイ] の [リングング カイスウ] で設定された回数の呼び出し音が外付け電話機から鳴ります。
- ・呼び出し音が鳴っている間に外付け電話機で応答した場合は、通常の通話状態になります。ファクス音が聞こえたら、手動でファクス受信してください。

目 参照

- ・[リングング カイスウ] について詳しくは、P82 「ファクスの機器設定」を参照してください。
- ・ファクスの手動受信について詳しくは、P52 「手動モードでファクスを受信する」を参照してください。

ファクス / 電話モードでファクスを受信する

受信モードがファクス / 電話モードのときは、外付け電話機が最初に 1 回鳴った後、ファクスの場合は自動受信され、電話の場合は本機から呼び出し音が鳴ります。

- 1) 着信を受けると、最初に外付け電話機の呼び出し音が 1 回鳴り、その後は 5 秒間無音のまま、本機はファクス音を検知しようとします。
ファクス音が検知されたら、本機は自動的にファクス受信を開始します。
- 2) ファクス音が検知されなかった場合は本機より呼び出し音が鳴り始め、[ファクスセットイ] の [ファクス / デンワ キリカエ] で設定された時間の間は、本機は引き続きファクス着信音を検知しようとします（この間外付け電話機は鳴りません）。
 - ・ファクス着信音が検知された場合や受話器が上げられなかった場合は、本機は自動的にファクス受信を開始します。
 - ・受話器を上げ、[ファクス] キーを押して [クリア / ストップ] キーを押すと、通常の通話状態になります。ファクス音が聞こえたら、手動でファクス受信してください。
 - ・受話器を上げて、[ファクス / デンワ キリカエ] で設定した時間内に通話状態にならなかった場合は、本機は自動的にファクス受信を開始します。

↓ 補足

- ・通常の通話を始めたいときは、受話器を上げた後に、必ず [ファクス] キーを押してファクスモードにしてから [クリア/ストップ] キーを押してください。本機がファクスモード以外のときは、[クリア/ストップ] キーを押しても通話状態になりません。

☰ 参照

- ・[ファクス/デンワ キリカエ] について詳しくは、P.82 「ファクスの機器設定」を参照してください。
- ・ファクスの手動受信について詳しくは、P.52 「手動モードでファクスを受信する」を参照してください。

3

ファクス / 留守番電話モードでファクスを受信する

受信モードがファクス / 留守番電話モードのときは、外付けの留守番電話機が応答し、電話の場合はメッセージを録音します。ファクスの場合は、自動的にファクスを受信します。

- 1) 着信を受けると、[ファクスセッテイ] の [ルスデンフクメタ ソウリングカイスウ] で設定した回数の呼び出し音が鳴ります。
外付け留守番電話機が応答しない場合は、本機は自動的にファクス受信を開始します。
- 2) 外付け電話機が応答した場合、本機は 30 秒間無音状態を監視します（無音検知）。
 - ・ファクス音が検知されたら、本機は自動的にファクス受信を開始します。
 - ・音声を検知されると、通常の通話状態になります。外付け留守番電話機がメッセージを録音します。

↓ 補足

- ・無音検知の間に、手動でファクスを受信できます。
- ・外付け留守番電話機が通話を終了しても、[クリア / ストップ] キーが押されない限り、無音検知は 30 秒間継続されます。

☰ 参照

- ・[ルスデンフクメタ ソウリングカイスウ] について詳しくは、P.82 「ファクスの機器設定」を参照してください。
- ・ファクスの手動受信について詳しくは、P.52 「手動モードでファクスを受信する」を参照してください。

電源断レポートが印刷されたとき

ファクスの送信中や受信中に、停電などによって本機の電源が切られると、送信や受信は正常に行われません。また、電源が入っていない状態で約1時間経過すると、メモリーに蓄積されているファクスは消去されます。

電源断レポートでは、送信や受信が正常に出来なかったファクスや、メモリーから消去されたファクスを確認できます。

送信できていなかったファクスがあったときは、もう一度送信し直してください。

受信できていなかったファクスがあったときは、相手先に送信のし直しを依頼してください。

補足

- 電源断レポートが印刷されたときは、電源プラグを差し込み、電源を約24時間入れたままにしてください。次に停電したり電源を切ったりしたとき、メモリーに蓄積されている内容を約1時間保持するための充電を行います。

参照

- 電源の入れ方について詳しくは、『操作ガイド』の「電源を入れる」を参照してください。

4. パソコンからファクス機能を活用する (PC ファクス)

パソコンから利用できる本機のファクス機能について説明します。Windows のアプリケーションで作成した文書を、パソコンに接続された本機を経由して、紙に出力せずに直接相手のファクスへ送信できます。

本機を接続する

パソコンと本機を接続する方法について説明します。

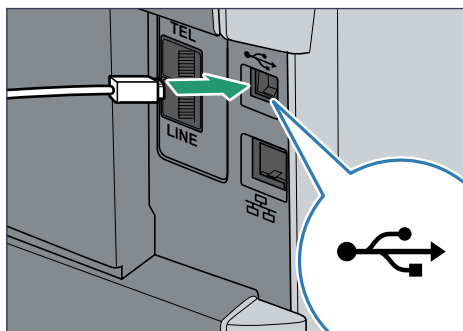
4

USB ケーブルで接続する

★重要

- USB ケーブルは同梱されていません。ご使用になるパソコンに合わせて、別途ご用意ください。

- 1 本体背面の USB ポートに、USB ケーブルの四角い方のコネクタを接続します。



- 2 もう一方の平たいコネクタをパソコンの USB ポート、またはハブに接続します。

目参照

- PC ファクスドライバーを USB ポートにインストールする方法については、P.65 「USB ポートに PC ファクスドライバーをインストールする」を参照してください。

ネットワークケーブルで接続する

⚠ 注意



- ・電話回線などの過電圧が加わる恐れのあるネットワークをイーサネットポートに接続しないでください。間違えて接続すると、火災および感電の危険があります。

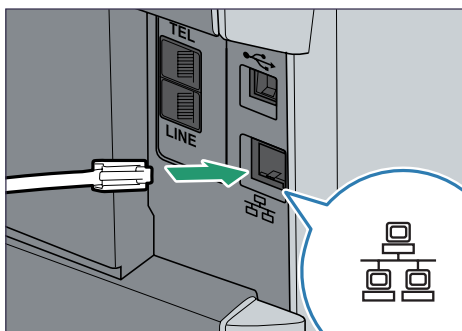
ハブ (HUB) などのネットワーク機器とイーサネットケーブル (10BASE-T または 100BASE-TX のストレートケーブル) を準備してから、以下の手順に従って本機をネットワークに接続してください。

★重要

- ・シールドされたイーサネットケーブルを使用してください。シールドされていないイーサネットケーブルを使用すると、電磁波の妨害により不具合が生じる場合があります。
- ・イーサネットケーブルは同梱されていません。ご使用になるネットワーク環境に合わせて別途ご用意ください。

4

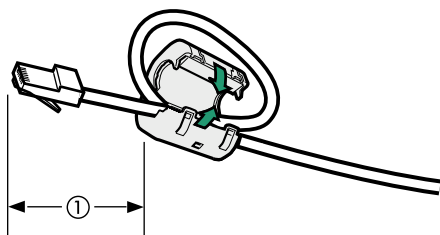
1 本体背面のイーサネットポートにケーブルを接続します。



BSN064S

2 ケーブルの反対側に、先端から 5 cm (①) の位置で、本機に同梱されているフェライトコアを取り付けます。

下の図のように、ケーブルをフェライトコアに 1 回巻きつけてください。



BBM011S

3 ケーブルをハブ (HUB) などのネットワーク機器に接続します。

E 参照

- ネットワーク環境の設定について詳しくは、P60 「IP アドレスの設定をする」を参照してください。
- PC ファクスドライバーを TCP/IP ポートにインストールする方法について詳しくは、P64 「TCP/IP ポートに PC ファクスドライバーをインストールする」を参照してください。

IP アドレスの設定をする

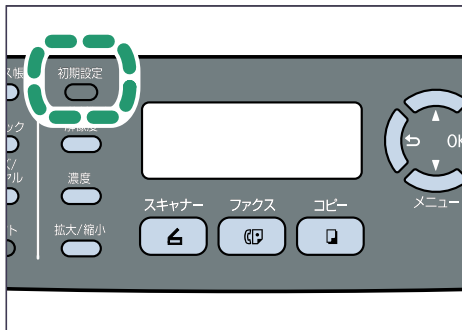
IP アドレスを自動的に取得するように設定する場合 (DHCP) と、手動で指定する場合とで、ネットワークの設定手順が異なります。

IP アドレスを自動的に取得する

★重要

・IP アドレスを自動的に取得するには、DHCP サーバーが必要です。

1 [初期設定] キーを押します。



BSN016S

2 [▲] [▼] キーを押して [ネットワークセッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し [OK] キーを押します。

4 [▲] [▼] キーを押して [IP セッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

5 [▲] [▼] キーを押して [DHCP ユウコウ] を選び、[OK] キーを押します。

6 [▲] [▼] キーを押して [スル] を選び、[OK] キーを押します。
設定が変更されると、新しい設定に「*」が表示されます。

7 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

8 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

9 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。

10 システム設定リストを印刷して、設定を確認してください。
IP アドレスの設定は、システム設定リストの「TCP/IP」欄に表示されます。

補足

- ・[↩] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- ・[カンリシャメニュー ロック] で、[ネットワークセッテイ] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。
- ・ご使用のネットワーク環境で、特定のイーサネット通信速度が要求される場合は、[ネットワークセッテイ] の [イーサネットソクド セッテイ] で通信速度を設定してください。
- ・[DHCP ユウコウ] が有効になっているときは、手動で指定した IP アドレスは使用されません。

参照

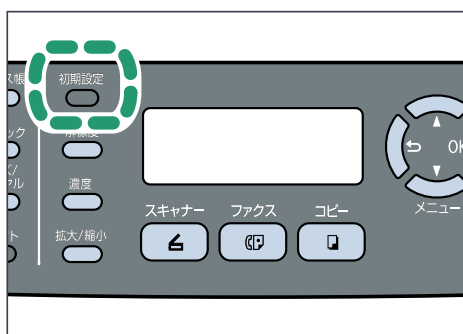
- ・電源の入れ方と切り方について詳しくは、『操作ガイド』④「電源を入れる」を参照してください。
- ・システム設定リストの印刷方法について詳しくは、『操作ガイド』④「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- ・[カンリシャメニュー ロック] について詳しくは、『操作ガイド』④「管理者設定」を参照してください。
- ・[イーサネットソクド セッテイ] について詳しくは、『操作ガイド』④「ネットワーク設定」を参照してください。

IP アドレスを手動で指定する

重要

- ・本機に割り当てられた IP アドレスは、同じネットワーク上の他のどの機器とも共用できません。

1 [初期設定] キーを押します。



BSN016S

2 [▲] [▼] キーを押して [ネットワークセッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

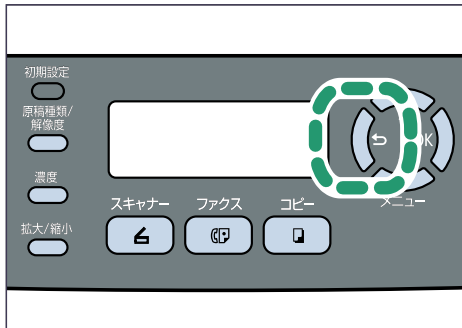
3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し [OK] キーを押します。

4 [▲] [▼] キーを押して [IP セッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

5 [▲] [▼] キーを押して [DHCP ユウコウ] を選び、[OK] キーを押します。

6 [▲] [▼] キーを押して [シナイ] を選び、[OK] キーを押します。
設定が変更されると、新しい設定に「*」が表示されます。

7 設定を確認してから、[↵] キーを押します。



8 [▲] [▼] キーを押して [IP アドレス] を選び、[OK] キーを押します。

9 テンキーで本機の IP アドレスを入力し、[OK] キーを押します。
[▲] [▼] キーでカーソルを移動できます。

10 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

11 [▲] [▼] キーを押して [サブネットマスク] を選び、[OK] キーを押します。
現在のサブネットマスクが表示されます。

12 テンキーでサブネットマスクを入力し、[OK] キーを押します。
[▲] [▼] キーでカーソルを移動できます。

13 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

14 [▲] [▼] キーを押して [ゲートウェイアドレス] を選び、[OK] キーを押します。
現在のゲートウェイアドレスが表示されます。

15 テンキーでゲートウェイアドレスを入力し、[OK] キーを押します。
[▲] [▼] キーでカーソルを移動できます。

16 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

17 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。





18 再起動を要求されたときは、本機の電源を一度切ってから、もう一度入れ直してください。

19 システム設定リストを印刷して、設定を確認してください。
IP アドレスの設定は、システム設定リストの「TCP/IP」欄に表示されます。

↓ 補足

- [←] キーを押すと、前のメニューに戻ります。
- [カンリシャメニュー ロック] で、[ネットワークセッテイ] メニューにアクセスするためのパスワードを設定できます。
- ご使用のネットワーク環境で、特定のイーサネット通信速度が要求される場合は、[ネットワークセッテイ]の[イーサネットソクド セッテイ]で通信速度を設定してください。
- [DHCP ユウコウ] が有効になっているときは、手動で指定した IP アドレスは使用されません。

E 参照

- 電源の入れ方と切り方について詳しくは、『操作ガイド』「電源を入れる」を参照してください。
- システム設定リストの印刷方法について詳しくは、『操作ガイド』「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- [カンリシャメニュー ロック] について詳しくは、『操作ガイド』「管理者設定」を参照してください。
- [イーサネットソクド セッテイ] について詳しくは、『操作ガイド』「ネットワーク設定」を参照してください。

PC ファクスドライバーをインストールする

TCP/IP ポートに PC ファクスドライバーをインストールする

次の手順で、PC ファクスドライバーを TCP/IP ポートにインストールしてください。

4

- 1 このマニュアルを除くすべてのアプリケーションを終了します。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
- 3 [PC FAX ドライバー] をクリックします。
ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。
- 4 使用許諾契約をお読みください。そのあと [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。
- 5 [プリンタードライバーの導入] ダイアログで本機の名前を選択して、[+] をクリックしてメニューを表示し、[ポート : <LPT1:>] をクリックします。
- 6 ['ポート' の設定の変更] で [追加] をクリックします。
- 7 [Standard TCP/IP Port] をクリックし、[OK] をクリックします。
- 8 [次へ] をクリックします。
- 9 [プリンタ名または IP アドレス] に本機の IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。
入力した IP アドレスは、自動的に [ポート名] に反映されます。
"ポート情報がさらに必要です" と表示された場合は、[デバイスの種類] で [標準] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 10 [完了] をクリックします。
- 11 [プリンタードライバーの導入] ダイアログで必要な設定を行って、[完了] をクリックします。
- 12 インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

USB ポートに PC ファクスドライバーをインストールする


次の手順で、PC ファクスドライバーを USB ポートにインストールしてください。

★重要

- PC ファクスドライバーをインストールする前に、[USB おすすめインストール] でプリンタードライバーをインストールし、ドライバーのプロパティでどの USB ポートを使用しているか確認してください。

- 1** このマニュアルを除くすべてのアプリケーションを終了します。
- 2** 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
- 3** [PC FAX ドライバー] をクリックします。
ソフトウェア使用許諾契約が表示されます。
- 4** 使用許諾契約をお読みください。そのあと [同意します] をクリックし、[次へ] をクリックします。
- 5** [プリンタードライバーの導入] ダイアログで本機の名前を選択して、[+] をクリックしてメニューを表示し、[ポート: <LPT1:>] をクリックします。
- 6** ['ポート' の設定の変更] のリストから [USBxxx] を選択します。
"xxx" は、コンピューターに作成されている USB ポートの数によって異なります。プリンタードライバーが使用している USB ポートを選択してください。
- 7** [プリンタードライバーの導入] ダイアログで必要な設定を行って、[完了] をクリックします。
- 8** インストールが正常に完了したとメッセージが表示されたら、[完了] をクリックします。

目 参照

- [USB おすすめインストール] について詳しくは、『操作ガイド』 「USB おすすめインストール」を参照してください。

PC ファクスのアドレス帳を設定する

PC ファクスのアドレス帳について説明します。PC ファクスのアドレス帳は、パソコンで設定します。PC ファクスのアドレス帳にあて先を登録しておくことで、ファクスを送信するときに、あて先をすばやく簡単に指定できます。

PC ファクスのアドレス帳には、個別のあて先と、複数のあて先をまとめたグループを、合わせて最大 1000 件まで登録できます。

補足

- ・ご使用のパソコンに設定されたユーザーごとに、それぞれ独自のアドレス帳を設定できます。
- ・必要に応じて、アドレス帳をインポートしたりエクスポートしたりできます。

4

PC ファクスのアドレス帳を開く

PC ファクスのアドレス帳の開き方について説明します。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
- 2 PC ファクスドライバーのアイコンをクリックします。
- 3 [ファイル] メニューの [印刷設定] をクリックします。
- 4 [アドレス帳] タブをクリックします。



補足

- ・実際の表示の方法はご使用の OS によって多少異なります。
- ・[表示対象選択] リストで、表示するあて先の種類を選択できます。
 - ・[すべて]：すべてのあて先を表示します。
 - ・[グループ]：グループとして登録されたあて先だけを表示します。
 - ・[ユーザー]：個別のあて先だけを表示します。

あて先を登録する

PC ファクスのアドレス帳にあて先を登録する方法について説明します。

1 PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザーの追加] をクリックします。

2 必要な情報を登録し、[OK] をクリックします。

設定項目について詳しくは、次の表をご覧ください。

PC ファクスのあて先設定

項目	設定	説明
氏名	必須	あて先の名前です。半角 / 全角で 32 文字まで入力できます。
氏名ふりがな	任意	あて先の名前のふりがなです。半角 / 全角で 32 文字まで入力できます。
会社名	任意	あて先の会社名です。半角 / 全角で 64 文字まで入力できます。すでに登録されているものから選択することもできます。
会社名ふりがな	任意	会社名のふりがなです。半角/全角で64文字まで入力できます。
部門名	任意	あて先の部門名です。半角 / 全角で 64 文字まで入力できます。すでに登録されているものから選択することもできます。
電話番号	任意	あて先の電話番号です。半角英数字で 40 桁まで入力できます。
ファクス番号	必須	あて先のファクス番号です。半角英数字で 40 桁まで入力できます。

↓ 補足

- 電話番号、ファクス番号には、0～9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、「-」、およびスペースが使用できます。
- 必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信の設定の [ポーズ ジャンクセッテイ] で設定できます。
- パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。

- ・入力された名前がすでに登録されている場合は、確認のダイアログが表示されます。別の名前で登録する場合は [いいえ] をクリックして、名前を入力し直してください。[はい] をクリックすると、同じ名前のまま、別のあて先として登録できます。
- ・すでに登録されているあて先の一部を編集して、新規のあて先として登録することもできます。

参照

- ・[ポーズ ジャンセッテイ] について詳しくは、P.79 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- ・すでに登録されているあて先の一部を編集して新規のあて先として登録する方法について詳しくは、P.68 「あて先を修正する」を参照してください。

4

あて先を修正する

登録したあて先を修正する方法について説明します。

- 1 PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧] から修正するあて先を選択して、[編集] をクリックします。

- 2 必要に応じて設定を修正し、[OK] をクリックします。

設定を部分的に修正して [別ユーザーとして登録] をクリックし、新規のあて先として登録することもできます。似たあて先を続けていくつか登録するときに便利です。元のあて先を変更せずに残しておく場合は、最後に [キャンセル] をクリックして、ダイアログを閉じます。

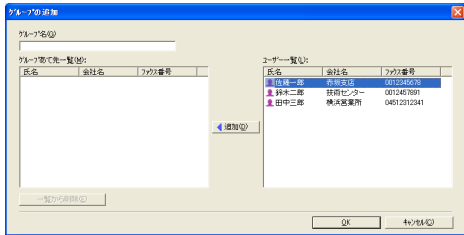
補足

- ・修正した名前がすでに登録されている場合は、確認のダイアログが表示されます。別の名前で登録する場合は [いいえ] をクリックして、名前を入力し直してください。[はい] をクリックすると、同じ名前のまま、別のあて先として登録できます。

グループを登録する

すでに登録されているあて先を、グループにまとめる方法について説明します。
ひとつのグループには、最大 100 件までのあて先を登録できます。

- 1 PC ファクスのアドレス帳を開き、[グループの追加] をクリックします。



- 2 [グループ名] にグループ名を入力します。
- 3 [ユーザー一覧] からグループに登録するあて先を選択し、[追加] をクリックします。
グループからあて先を削除するには、[グループあて先一覧] から削除するあて先を選択し、[一覧から削除] をクリックします。

- 4 [OK] をクリックします。

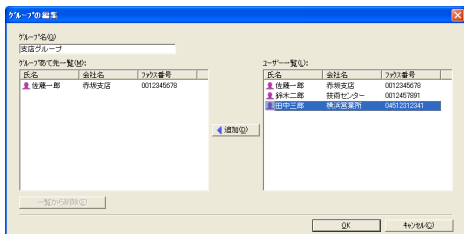
補足

- ・グループには、最低ひとつのあて先を登録してください。
- ・グループ名をつけずに、グループを登録することはできません。また、すでに登録されているグループと同じ名前のグループは登録できません。
- ・ひとつのあて先を、複数のグループに登録できます。

グループを修正する

登録したグループを修正する方法について説明します。

- 1 PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧] から編集するグループを選択して、[編集] をクリックします。



- 2 あて先を追加するには、[ユーザー一覧] からグループに追加するあて先を選択し、[追加] をクリックします。

3 グループからあて先を削除するには、[グループあて先一覧] から削除するあて先を選択し、[一覧から削除] をクリックします。

4 [OK] をクリックします。

↓ 補足

- ・修正したグループ名がすでに登録されている場合は、確認のダイアログが表示されます。[OK] をクリックして、別の名前で登録してください。

あて先やグループを削除する

PC ファクスのアドレス帳に登録されているあて先やグループを削除する方法について説明します。

4

1 PC ファクスのアドレス帳を開き、[ユーザー一覧] から、削除するあて先やグループを選択して、[削除] をクリックします。
確認のメッセージが表示されます。

2 [はい] をクリックします。

↓ 補足

- ・グループに登録されているあて先を削除すると、そのあて先はグループからも削除されます。グループに登録されているあて先がなくなってしまう場合は、そのグループ自体を削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。削除する場合は [OK] をクリックします。
- ・グループを削除しても、そのグループに登録されていたあて先は削除されません。

PC ファクスのアドレス帳をエクスポート / インポートする

PC ファクスのアドレス帳をエクスポートしたりインポートしたりする方法について説明します。

◆ エクスポート

PC ファクスのアドレス帳データを CSV (Comma Separated Values) 形式のファイルにエクスポートできます。

◆ インポート

CSV 形式のファイルから、アドレス帳のデータをインポートできます。CSV 形式のファイルに保存されていれば、他のアプリケーションなどのアドレス帳もインポートできます。

■ PC ファクスのアドレス帳をエクスポートする

PC ファクスのアドレス帳をエクスポートする方法について説明します。

- 1 PC ファクスのアドレス帳を開き、[書き出し] をクリックします。
- 2 保存先とファイル名を指定して、[保存] をクリックします。

■ PC ファクスのアドレス帳にデータをインポートする

PC ファクスのアドレス帳にデータをインポートする方法について説明します。他のアプリケーションのアドレス帳をインポートするときは、インポートする項目を設定してください。

- 1 PC ファクスのアドレス帳を開き、[取り込み] をクリックします。
- 2 インポートするファイルを選択して、[開く] をクリックします。
インポートする項目を選択する画面が表示されます。

- 3 それぞれの設定項目に適切なデータがインポートされるように、右側のリストでインポートする項目を選択します。

インポートするデータがない設定項目には、[* 空欄 *] を選択してください。ただし、[氏名] と [ファクス番号] には [* 空欄 *] を選択できません。

- 4 [OK] をクリックします。

インポート中に、同じ名前のあて先が PC ファクスのアドレス帳に見つかった場合は、次のいずれかの操作をしてください。

- ・ [登録しない] : 現在のあて先をインポートせずに、残りのデータをインポートします。
- ・ [別ユーザーとして登録] : 現在のあて先を、同じ名前のまま別のあて先としてインポートします。
- ・ [すべて別ユーザーとして登録] : 同じ名前のまま、すべてのあて先を別のあて先としてインポートします。
- ・ [上書き登録] : 現在のあて先の情報で、PC ファクスのアドレス帳に登録されている情報を上書きします。
- ・ [すべて上書き登録] : PC ファクスのアドレス帳に登録されている情報を、すべて上書きします。
- ・ [キャンセル] : インポートを中止します。

あて先に名前がなかったり、電話番号やファクス番号に使用できない文字が使用されていたりしたら、次のいずれかの操作をしてください。

- [登録しない]：現在のあて先をインポートせずに、残りのデータをインポートします。
- [登録する]：現在のあて先をそのままインポートします。
- [すべて登録する]：すべてのあて先をそのままインポートします。
- [キャンセル]：インポートを中止します。

↓ 補足

- エクスポートされた CSV ファイルは、Unicode 形式のファイルとして保存されます。
- アドレス帳のデータは、Unicode か ASCII コード形式で保存された CSV ファイルからインポートできます。
- グループの情報は、エクスポート / インポートできません。
- PC ファクスのアドレス帳の登録件数は、最大 1000 件です。インポート中にそれを超えた場合、残りのあて先はインポートされません。

基本的な PC ファクスの送り方

PC ファクスの基本的な送信の仕方について説明します。

あて先は、PC ファクスのアドレス帳から選択するか、ファクス番号を直接入力して指定します。一度に、最大 100 件のあて先を指定してファクスを送信できます。

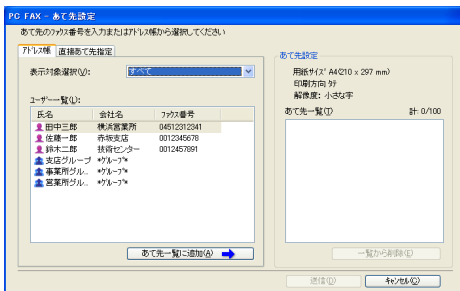
★重要

- ・本機は、PC ファクスを送信する前に、一旦すべてのデータをメモリーに読み込みます。読み込み中にメモリーが一杯になると、ファクスの送信はキャンセルされます。この場合、解像度を下げるか、ページ数を減らして再度送信してください。

1 送信するファイルを開きます。

2 [ファイル] メニューの [印刷 ...] をクリックします。

3 プリンターの一覧から PC ファクスドライバーを選択し、[OK] をクリックします。



4 PC ファクスのアドレス帳からあて先を選択する場合は、[ユーザー一覧] であて先を選択し、[あて先一覧に追加] をクリックします。

あて先を複数指定する場合は、この手順を繰り返してください。

5 ファクス番号を直接入力する場合は、[直接あて先指定] タブをクリックします。

6 [ファクス番号] にファクス番号（最大 40 桁）を入力し、[あて先一覧に追加] をクリックします。

あて先を複数指定する場合は、この手順を繰り返してください。

7 [送信] をクリックします。

↓補足

- ・電話番号、ファクス番号には、0~9 までの数字、ポーズ、「*」、「#」、「-」、およびスペースが使用できます。
- ・必要であれば、ファクス番号の間にポーズを入れます。ポーズを入れると、ポーズ前後の番号がダイヤルされる間に短い間隔が空きます。ポーズの長さは、ファクス送信の設定の [ポーズ ジャンクセティ] で設定できます。

- ・パルス方式の電話回線でトーン方式のサービスを受けるには、ファクス番号に「*」を入れます。「*」を入れると、一時的にパルス回線でトーン信号を発信できるようになります。
- ・指定したあて先を削除するには、[あて先一覧] であて先を選択し、[一覧から削除] をクリックしてください。
- ・[直接あて先指定] タブで直接入力したファクス番号は、PC ファクスのアドレス帳に登録できます。あて先の登録画面は、[アドレス帳に登録] をクリックすると表示されます。
- ・[表示対象選択] リストで、表示するあて先の種類を選択できます。
 - ・[すべて]：すべてのあて先を表示します。
 - ・[グループ]：グループとして登録されたあて先だけを表示します。
 - ・[ユーザー]：個別のあて先だけを表示します。
- ・送信の設定を、PC ファクスドライバーのダイアログボックスで変更できます。

☰ 参照

- ・[ポーズ ジャンプ] について詳しくは、P.79 「ファクス送信の設定」を参照してください。
- ・PC ファクスの送信設定を変更する方法について詳しくは、P.76 「PC ファクスの送信設定を変更する」を参照してください。

送信をキャンセルする

ジョブの状態により、本機の操作部やパソコンから送信をキャンセルできます。

■ パソコンから本機に受信中のファクスをキャンセルする

- 1 パソコンのタスクバーでプリンターのアイコンをダブルクリックします。
- 2 キャンセルするプリントジョブを選び、[ドキュメント] メニューをクリックして、[キャンセル] をクリックします。

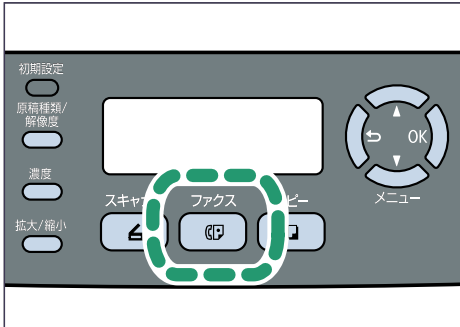
↓ 補足

- ・複数のパソコンで本機を共有している場合は、他のユーザーのプリントジョブを中止しないよう注意してください。

■ 送信中のファクスをキャンセルする

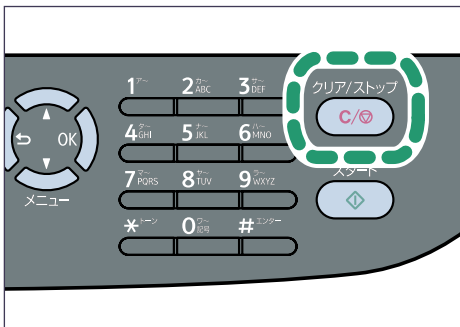
操作部を使用してファクス送信をキャンセルする方法について説明します。

1 [ファクス] キーを押します。



BSN042S

2 [クリア/ストップ] キーを押します。



BSN031S

PC ファクスの送信設定を変更する

PC ファクスの送信設定を変更する方法について説明します。
プロパティは、アプリケーションごとに設定します。

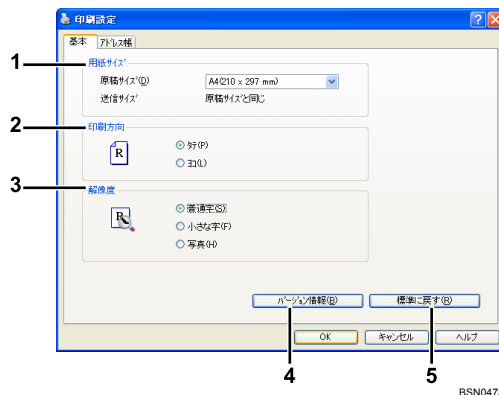
- 1 [ファイル] メニューの [印刷 ...] をクリックします。
- 2 印刷に使用するプリンターとして PC ファクスドライバを選択し、[詳細設定]、[プロパティ] など、プロパティを表示するボタンをクリックします。
PC ファクスダイアログボックスが表示されます。
- 3 [基本] タブをクリックします。
- 4 プロパティの設定をして、[OK] をクリックします。

参照

- ・設定内容について詳しくは、P.76 「PC ファクスダイアログボックスで設定できる項目」を参照してください。

PC ファクスダイアログボックスで設定できる項目

PC ファクスダイアログボックスで設定できる項目について説明します。



1 用紙サイズ

用紙サイズを設定します。

・原稿サイズ

送信しようとしている文書の用紙サイズを設定します。アプリケーションで用紙サイズが設定されている場合はアプリケーションの設定が有効になりますが、アプリケーションで設定されない場合は、ここでの設定が有効になります。

・送信サイズ

実際に送信されるファクスの用紙サイズが表示されます。

文書に設定された用紙サイズが A3、B4、または A4 よりも小さい場合は、A4 サイズで送信されます。A3/B4 サイズの文書は、A4 サイズに縮小して送信されます。

2 印刷方向

ページの向きを設定します。

3 解像度

解像度を設定します。

- 普通字

文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。

- 小さな字

文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。

- 写真

写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。

4 バージョン情報

ドライバーのバージョンを表示します。

5 標準に戻す

すべての設定を初期設定に戻します。

↓ 補足

- ここでの設定は、現在のアプリケーションだけに有効です。

5. ファクスの詳細設定

操作部を使って本機の設定を変更したり調整したりする方法について説明します。本機は初期設定でも使用できますが、ご使用の状況に合わせて設定を変更できます。本機の電源を切っても設定の変更は保存されます。

ファクス送信の設定

ファクス送信の設定方法について説明します。
この機能のメインメニューには、以下の項目が含まれます。

◆ ファクス送信機能の設定（メニューキーから設定）

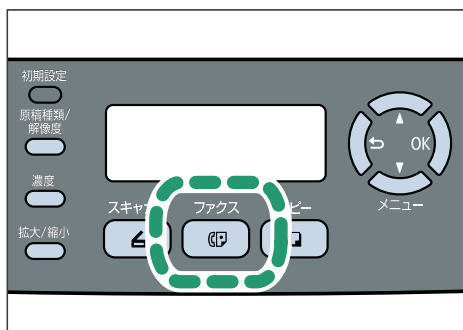
チヨクセツ ソウシン
カイゾウド
ノウド
ポーズジカクセツテイ
ジドウリダイヤル
ハッシンモト ジョウホウインジ

5

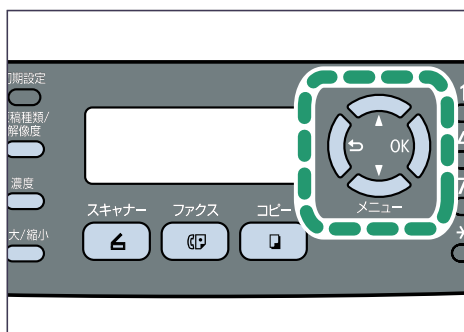
ファクス送信の設定を変更する

ここでは例として、解像度の設定手順を説明します。

1 [ファクス] キーを押します。



2 メニューキーを押します。



BSN035S

3 [▲] [▼] キーを押して [カイズウド] を選び、[OK] キーを押します。

ソウシン セッテイ
カイズウド

4 [▲] [▼] を押して好みの解像度を選び、[OK] キーを押します。

カイズウド
フツウジ *

設定が変更されると、新しい設定に「*」が表示されます。

5 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

6 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

補足

- ・ [↵] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

ファクス送信設定の項目

ファクス送信設定の項目について説明します。

◆ ソウシンセッテイ

送信機能の設定をします。

- ・ チョクセツソウシン

原稿を読み取りながらファクスを送信します。

初期設定：[シナイ]

- ・ シナイ

メモリー送信のときに選択します。

- ・ スル

直接通信のときに選択します。

- ・ ツギノ ソウシンノミ

次の送信に限定して、直接送信を使いたいときに選択します。

- カイゾウド
解像度を設定します。
初期設定：[フツウジ]
 - フツウジ
文字の大きさが普通の原稿に適した設定で読み取ります。
 - チイサナジ
文字の大きさが小さな原稿に適した設定で読み取ります。
 - シャシン
写真などが主体の原稿に適した設定で読み取ります。
- ノウド
濃度を設定します。
初期設定：[フツウ]
 - ウスク
 - フツウ
 - コク
- ポーズジカンセツテイ
ファクス番号の途中にポーズが入力された箇所で、ダイヤルをポーズする時間を設定します。
初期設定：3 秒
 - 1~15 秒、1 秒単位
- ジドウリダイヤル
ファクス送信モードがメモリー送信のとき、回線が使用中だったりエラーが起きた場合などに、あて先を自動的にリダイヤルするようにします。リダイヤルは、5 分間隔で3 回行われます。
初期設定：[スル]
 - シナイ
 - スル
- ハッシンモト ジョウホウインジ
送信するすべてのファクスにヘッダーを追加します。ヘッダーには、日付と時刻、ユーザー名と番号、ジョブ ID およびページが表示されます。
初期設定：[スル]
 - シナイ
 - スル

ファクスの機器設定

ファクスの機器設定を変更する方法について説明します。
この機能のメインメニューには、以下の項目が含まれます。

◆ ファクス機器設定（[初期設定] キーから設定）

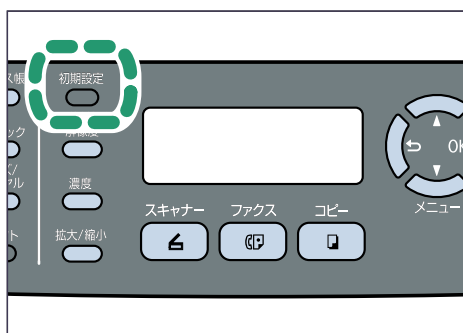
ジュシン	セッテイ
トレイ	セッテイ
ファイル	サクジョ
ツウシン	セッテイ
レポート	セッテイ

ファクスの機器設定を変更する

5

ここでは例として、トレイの設定手順を説明します。

1 [初期設定] キーを押します。



BSN016S

2 [▲][▼] キーを押して [ファクスセッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

3 [▲][▼] キーを押して [トレイ セッテイ] を選び、[OK] キーを押します。

4 [▲][▼] キーを押して [ファクスヨウ トレイ] を選び、[OK] キーを押します。

5 [▲][▼] キーを押してトレイを選び、[OK] キーを押します。
設定が変更されると、新しい設定に「*」が表示されます。

6 設定を確認してから、[↵] キーを押します。

7 [クリア/ストップ] キーを押して初期画面に戻ります。

↓ 補足

- ・ [↵] キーを押すと、前のメニューに戻ります。

ファクスの機器設定項目

ファクスの機器設定項目について説明します。

◆ ジュシン セッテイ

ファクス受信の設定をします。

・ ジュシンモード

受信モードを設定します。

初期設定：[ファクスセンヨウ]

・ ファクスセンヨウ

すべての着信に対して、自動的にファクス受信を開始します。外付け電話機を接続していた場合、ファクスの自動受信を開始する前に、[リンギング カイスウ] で設定された回数の呼び出し音が外付け電話機から鳴ります。

・ シュドウ

電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、手で受信します。

・ ファクス / ルスバンデンワ

電話がかかってきたら、外付け留守番電話が応答します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。

・ ファクス / デンワ

電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。

・ ジドウ シュクショウ

受信したファクスのサイズが大きすぎて 1 枚の用紙に印刷できない場合に、サイズを縮小します。

サイズは 74% まで縮小されます。それ以上縮小しなければ 1 枚の用紙に印刷できない場合は、縮小されずに別々の用紙に印刷されます。

初期設定：[スル]

・ シナイ

・ スル

・ リンギング カイスウ

ファクス専用モードで外付け電話機を接続しているときに、本機がファクス受信を開始する前に外付け電話機の呼び出し音が鳴る回数を設定します。

初期設定：1 回

・ 1~5 回、1 回単位

・ ファクス / デンワ キリカエ

ファクス / 電話モードのときに、本機がファクス音を検知しようとする時間を設定します。

初期設定：15 秒

・ 5~99 秒、1 秒単位

・ ナンバーディスプレイ

本機はナンバーディスプレイに対応していません。ナンバーディスプレイを契約している回線に本機を接続して FAX 受信を行う場合は、この設定を [ケイヤク シテイル] に変更してください。

初期設定：[ケイヤク シテイナイ]

・ ケイヤク シテイナイ

・ ケイヤク シテイル

- ・ルステンフクメタ ソウリングカイスウ
ファクス / 留守番電話モードのときに、本機がファクス受信を開始する前に留守番電話機の呼び出し音が鳴る回数を設定します。
初期設定：5回
・1～20回、1回単位

◆トレイ セッテイ

- ・ファクスヨウ トレイ
受信したファクスを印刷するトレイを指定します。ファクスの印刷に使用できる用紙のサイズは、A4、Letter、Legal です。そのサイズの用紙がセットされているトレイを選んでください。トレイ2が装着されていない場合は、[トレイ1ノミ] だけが表示されます。
初期設定：[ジドウ]
 - ・ジドウ
トレイ1とトレイ2の両方に同じサイズの用紙がセットされていたら、両方のトレイを使ってファクスを印刷します。最初にトレイ1から印刷しますが、トレイ1の用紙がなくなると、自動的にトレイ2に切り替えて印刷します。トレイ2の用紙もなくなったら、トレイ1に用紙をセットしてください。
 - ・トレイ1ノミ
 - ・トレイ2ノミ

◆ファイル サクジョ

本機のメモリーに残っている未送信のファクスジョブを消去します。
この機能は、選択されたときのみ実行されます。

- ・ジョブショウキョ
ファクスジョブを個別に消去するには、消去するジョブを選び、[ショウキョスル] を選びます。[ショウキョシナイ] を選ぶと、消去せずに前のメニューに戻ります。
- ・ゼンショウキョ
すべてのファクスジョブを一度に消去する場合は、[ショウキョスル] を選びます。[ショウキョシナイ] を選ぶと、消去せずに前のメニューに戻ります。

◆ツウシン セッテイ

- ・ECM ソウシン
送信中に失われたデータを自動的に再送信します。
初期設定：[スル]
 - ・シナイ
 - ・スル
- ・ECM ジュシン
受信中に失われたデータを自動的に再受信します。
初期設定：[スル]
 - ・シナイ
 - ・スル
- ・トーンケンチ
ダイヤル音を検知してから、あて先にダイヤルを開始します。
初期設定：[ケンチスル]
 - ・ケンチスル
 - ・ケンチシナイ

- ソウシン ソクド
ファクスモデムの送信速度を指定します。
初期設定：[33.6 Kbps]
 - 33.6 Kbps
 - 14.4 Kbps
 - 9.6 Kbps
 - 7.2 Kbps
 - 4.8 Kbps
 - 2.4 Kbps
- ジュシン ソクド
ファクスモデムの受信速度を指定します。
初期設定：[33.6 Kbps]
 - 33.6 Kbps
 - 14.4 Kbps
 - 9.6 Kbps
 - 7.2 Kbps
 - 4.8 Kbps
 - 2.4 Kbps

◆ レポート セッテイ

- ファクスソウシンレポート
ファクスを送信した後、自動的に送信レポートを印刷します。
直接送信モードでは、[エラーノミ (ガゾウアリ)] か [マイカイ インサツ (ガゾウアリ)]
を選択していても、原稿のイメージはレポート上に再現されません。
初期設定：[エラーノミ (ガゾウアリ)]
 - エラーノミ
送信エラーが発生したら、レポートを印刷します。
 - エラーノミ (ガゾウアリ)
送信エラーが発生したら、原稿のイメージ付きレポートを印刷します。
 - マイカイ インサツ
ファクスを送信するたびにレポートを印刷します。
 - マイカイ インサツ (ガゾウアリ)
ファクスを送信するたびに、原稿のイメージ付きレポートを印刷します。
 - インサツシナイ
- ファクスツウシンカンリレポート
ファクスの送受信 100 件ごとに、自動的にレポートを印刷します。
初期設定：[ジドウインサツ]
 - ジドウインサツ
 - インサツシナイ

レポート印刷

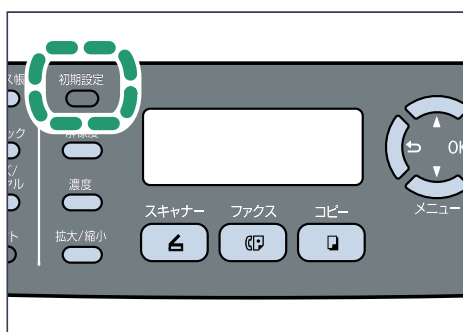
ファクス通信管理レポートの印刷と見かたについて説明します。

ファクス通信管理レポートは、過去 100 件までのファクス送受信のレポートを印刷します。

ファクス通信管理レポートを印刷する

以下の手順に従って、ファクス通信管理レポートを印刷します。

- 1 【初期設定】 キーを押します。



BSN016S

- 2 【▲】【▼】キーを押して【レポートインサツ】を選び、【OK】キーを押します。

メニュー
レポ ートインサツ

- 3 【▲】【▼】キーを押して【ファクスツウシンカンリレポート】を選び、【OK】キーを押します。

レポ ートインサツ
ファクスツウシンカンリレポート

ファクス通信管理レポートが印刷されます。

ファクス通信管理レポートの見かた

- ◆ ジョブ No.
文書の管理番号が記載されます。
- ◆ ヒツケ / ジコク
送信した場合は、送信を開始した日付と時刻が記載されます。
受信した場合は、受信した日付と時刻が記載されます。
- ◆ ソウシン / ジュシン
送信か受信かを記載します。

◆ ジカン

送信や受信にかかった通信時間が記載されます。

◆ リモート

受信した場合は、相手先の番号が記載されます。

送信した場合は、ダイヤルの仕方によって、以下の情報が記載されます：

- ・ 外付け電話機を使った場合：相手先の番号が記載されます。
- ・ ワンタッチダイヤル / 短縮ダイヤルを使った場合：あて先の名前が登録されていれば、名前が記載されます。登録されていない場合は、番号が記載されます。
- ・ 操作部のテンキーを使った場合：あて先の番号が記載されます。
- ・ PC ファックスの場合：あて先の番号が記載されます。

◆ ページスウ

送受信した枚数が記載されます。

◆ ケツカ

送受信の結果が記載されます。送受信中にエラーが発生して正常な処理が行われなかった場合は、エラーコードが記載されます。

▶ 参照

- ・ エラーコードについて詳しくは、P.89 「思い通りにファクス機能が使えないとき」を参照してください。

6. 困ったときには

困ったときの対処方法について説明します。

思い通りにファクス機能が使えないとき







思い通りにファクス機能が使えないときの原因と対処方法について説明します。

ファクス通信管理レポート / 送信レポートにエラーコードが記載された場合

ファクスの送受信中にエラーが発生して正常な処理が行われなかった場合は、ファクス通信管理レポートや送信レポートの "ケツカ" 欄にエラーコードが記載されます。エラーコードを確認して、対処してください。







"O" の部分は、状況に応じて異なる番号が表示される部分を表します。

エラーコード	対処方法
100011	直接送信モードでファクスを送っている途中で、ADF の内部に原稿がつかまりました。 ・つまった原稿を取り除いて、セットしなおしてください。『操作ガイド』④「ADF から紙づまりを取り除く」を参照してください。 ・使用している原稿が本機で読み取り可能なものか確認してください。『操作ガイド』⑧「原稿をセットする」を参照してください。
100021	回線が正しく接続されませんでした。 ・電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 ・本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができない場合は、電話会社に連絡してください。 ・それでも同じ問題が何度も発生する場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。

エラーコード	対処方法
100022~100023	<p>ファクスの相手先が応答しませんでした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤルした番号が正しいか確認してください。 ・ダイヤル先がファクス機であることを確認してください。 ・回線が通話中でないことを確認してください。 ・あて先番号の間にポーズを入れてください。市外局番などの後で [ポーズ/リダイヤル] キーを押してください。 ・[カンリシャセッテイ] の [ナイセン センタク] が、お使いの電話回線に合った設定になっていることを確認してください。『操作ガイド』 「管理者設定」を参照してください。
100032~100084	<p>ファクスの送信中にエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 ・本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができない場合は、電話会社に連絡してください。 ・それでも同じ問題が何度も発生する場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。
200014	<p>受信したファクスを一時的に印刷できない状態になっているか、送られて来ているファクスのサイズが大きすぎるため、メモリーが一杯になっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレイの用紙がなくなっている場合は、用紙を補給してください。『操作ガイド』 「用紙をセットする」を参照してください。 ・トレイにA4/Letter/Legalサイズ以外の用紙がセットされている場合は、A4/Letter/Legal サイズの用紙をセットして、[キキセッテイ] の [ヨウシサイズ] 設定を変更してください。 ・本機のカバーやトレイが開いている場合は、開いているカバーやトレイを閉じてください。 ・紙づまりが起きている場合は、つまった用紙を取り除いてください。『クイックガイド』  「紙づまりを取り除く」を参照してください。 ・トナーが空になっている場合は、トナーを交換してください。『クイックガイド』  「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 ・送られて来ているファクスのサイズが大きすぎます。送信者に連絡して、一度に送るページを少なくしてもらうか、解像度を低く設定して送り直してもらってください。
200032~200084	<p>ファクスの受信中にエラーが発生しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話線が本機にきちんと接続されているか確認してください。 ・本機から電話線を取り外し、通常の電話機につなぎます。その電話機で通話できるか確認してください。通話ができない場合は、電話会社に連絡してください。 ・それでも同じ問題が何度も発生する場合は、お買い上げの販売店または最寄りのサービス実施店にお問合せください。

その他の問題が発生した場合

エラーコードが出なくても、思い通りのファクス機能が使えない場合は、以下の対処を行ってください。

状態	対処方法
ファクスの送信ができない	エラーコード "100032"~"100084" の対処方法を参照してください。
ファクスの受信ができない	エラーコード "200032"~"200084" の対処方法を参照してください。
送信はできるが受信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・トナーがなくなりました。トナーを交換してください。『クイックガイド』 「トナーカートリッジを交換する」を参照してください。 ・用紙切れなどの理由で印刷できない状態になっています。トレイに用紙をセットしてください。『操作ガイド』 「用紙をセットする」を参照してください。 ・ファクスの受信モードが手動モードになっています。手動モードのときは、手動でしかファクスを受信できません。P.52 「ファクスを受信する」を参照してください。
受信した文書が用紙に印刷されない	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙切れなどの理由で印刷できない状態になっています。トレイに用紙をセットしてください。『操作ガイド』 「用紙をセットする」を参照してください。 ・用紙が適切ではありません。適切なサイズの用紙をセットしてください。
黒ずじ、斑点や汚れのあるファクスが送信される	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿ガラス、または ADF が汚れています。『操作ガイド』 「本機を清掃する」を参照してください。 ・原稿を原稿ガラスに置く前に、インクや修正液が乾いているか確認してください。
白紙で送信される	原稿の裏と表が反対にセットされています。正しくセットしなおしてください。『操作ガイド』  「原稿をセットする」を参照してください。
相手に届いたファクスの背景に汚れがある、または裏面のイメージが透けて見える	濃度が濃く設定されています。濃度を調節してください。P.50 「濃度を調整する」を参照してください。
相手に届いたファクスが明るすぎる	温度が低い環境で本機を使用しているため、画像が鮮明に読み取れませんでした。[スキャンジュンビノジカセットイ] を [ナガク] に設定すると、読み取りの品質を改善できる場合があります。『操作ガイド』  「機器設定」を参照してください。
ファクスを送信しようとしてもつながらない	エラーコード "100022"~"100023" の対処方法を参照してください。

索引

アルファベット索引

ADSL 環境	15
DHCP	60
IP アドレス	60
ISDN 環境	16
PC ファクス	73
PC ファクスドライバー	64
USB 接続	57
USB ポート	57

あ行

あて先の指定	42
あて先の登録	32
アドレス帳 (PC ファクス)	66
イーサネット	58
オンフックキー	47
オンフックダイヤル	47

か行

外線発信番号	23
解像度	51, 80
基本的な使いかた	39, 73
グループ (PC ファクス)	69
原稿種類 / 解像度キー	51
公衆交換電話網	15, 21
構内交換機	15, 21

さ行

時刻の設定	24
自動縮小	83
自動リダイヤル	80
受信設定	82
受信速度	83
受信モード	13, 26
使用説明書一覧表	9
使用説明書について	8
使用説明書の紹介	8
商標	6
接続	57
送信設定	80
送信速度	83

送信モード	37
外付け電話機	15, 26

た行

短縮ダイヤル	43
直接送信	37
通信設定	82
電源断レポート	55
電話回線	15
電話回線の種別	12, 19
同報送信	45
トーン検知	83
トレイ設定	82

な行

内線電話	18
日時の設定	24
ネットワーク接続	58
濃度	50, 80
濃度キー	50

は行

発信元情報	28
発信元情報印字	80
ひかり電話	18
日付の設定	24
ファイル削除	82
ファクスキー	31
ファクス自動受信	53, 54
ファクス手動受信	52
ファクス設定	79, 82
ファクス専用モード	53
ファクス送信の設定	79
ファクス通信管理レポート	86
ファクス / 電話切り替え	83
ファクス / 電話モード	53
ファクスの機器設定	82
ファクスモード	31
ファクス / 留守番電話モード	54
ポーズ時間設定	80
ポーズ / リダイヤルキー	46
本書についてのご注意	10

ま行

マークについて	9
メモリー送信	37

や行

ユーザーファクス番号	28
ユーザー名	28
読み取り設定	50

ら行

リダイヤル	46
リングング回数	83
留守電含めた総リングング回数	82
留守番電話	26
レポート設定	82

わ行

ワンタッチキー	42
---------------	----



株式会社 リコー

東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/>



IPSIO SP 3410SF フラックス設定・利用ガイド